

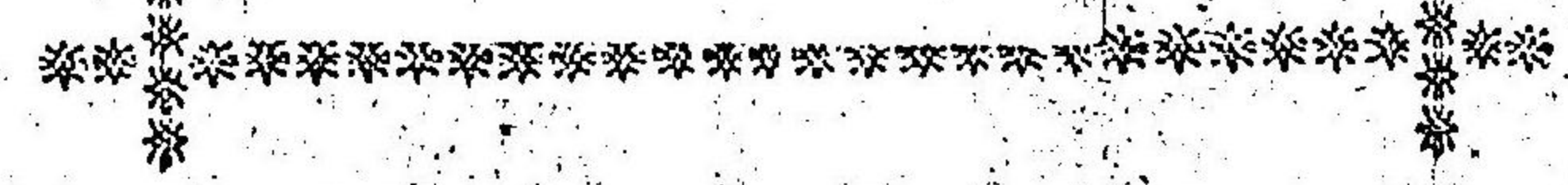
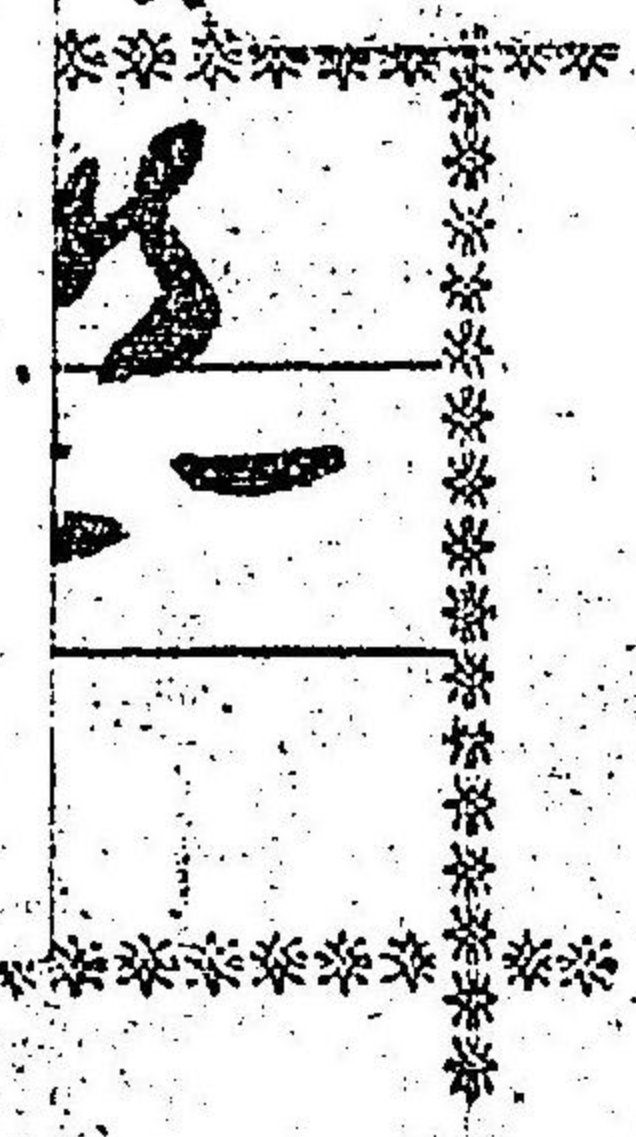
史略字類大全

河神與...

特32

302

館籍出會育教本日大			
三	八	一	四
册	號	架	函



東書

十八史略字類大全卷之三

長崎縣

深江順暢校閱
川崎與十編輯

五代 梁唐晉漢周

梁 姓ハ朱氏洛陽ニ都ス凡ソ
ニ君年ヲ得ル十有七

太祖無頼

横行

何負於汝

嘗罵之

行當族滅

矣

割據

何負於汝

浥

驍勇

夾寨

倍道

取威定霸

在此一舉

新立

倍道

填塹

鼓

諫

族父

上世

經營天下

太

鼓

增一八史略字類大全

卷之三

梁太祖均

末末

補十一ノ只母ニヲ類ナラズニ老ニ三

原遺孽 李克用ノアト○遺孽ハ李氏人ニバンバヘト云フコトニテ存嗣ヲイフ太原ハ晋王ノ都ナリ

吾無葬地 梁ノ土地ハツイニ晋ニトラレ身ヲ葬ル地モナクナルト云フコト

子 尚ホ養子ト云フガ如シ

均王 統衆 シハイスル 襲王 チスデヲツイテ王トナルコト

鎮定 玉鎔ガ營スル所ノ鎮州ト王處直ガ營スルトコロノ定州ナリ 決河以限晋 河水ノセキヲヤシテ晋人ノ

傳國寶 帝王ノ代々ヘツタハルタカラモノ○ムカシ秦ノ始皇帝ヲ得テ鹽トス歷代傳テ傳國寶ト稱ス 將佐 大将ガ

王鐵槍 王彦章ノコトヲイフ○彦章驍勇ニシテ戰フゴトニ重サ百ニ十斤ノ槍ヲ用ユ故ニ敵陣ニノゾミ向フトコロ前ヘナシ時人



勇決 ハイサミ 力攻 セメル 尋命其下 梁王彦章トリ軍直チニ至ラントスルヲキハ族ヲアツメテ大ニ哭シ遂ヒニ皇甫麟ニ命シテ已レヲ殺サシムルコト 唐 姓ハ朱邪氏沙陀ノ人唐姓ヲ李ト賜フ洛陽ニ都入凡ソ四君年ヲ得ルコト十有三



莊宗 微妙 暮年 トシガヨツテカラ 所感 土地ヲウバハ

窮凶極暴 フルイコトヤテアラ 大人 子ヨリ父ヲ

養時晦 シリゾヒテ自ラヨクシテ時トトモニクラム○コノ語詩ノ周頌ヨリ化シ來ツテ時日ヲ送リテ時節ヲマ

沮喪 氣カヲ失望 ナクナス 臨終 シニギハ

志氣遠大 コノロザシヌオ 豚犬 コノヤウナモノトイ

拮据 拾ル ヲビア 接應不之 テキ人侵

宗社 國家宗廟 勸哭 オホヒニ 血戰 千カラヲキハメテ

之 天下ヲ 誤老奴矣 ○老奴ハ張業ガ自分ノコトヲ云フ 悒々 マヌ貞 權兼

内外 謀猷 謀ハモノヲ仕タム 規益 ○君ノタメニハカリゴトヲス

薦引 アゲル 受成 崇輜ノシナシタルコトヲ受ケ行ヒワガ

遊 遊樂ニ度ナク 滌酒 シミダレルコト 赤其族 一族ヲノコラ

增一ノ只母ニヲ類ナラズニ老ニ三 唐 莊宗 二

音律 オンガク 傳粉墨 オンロビマユズミカ 優名 サクシ 遷前 存シモヨラ

批 テウツ 理天下 リテカ 只一人 ホニツケヨソホフ 尚誰呼邪 ナホタカヨ 新敬磨 モノナリ 唐帝 ミツカ 李天

出入宮掖 オクムキ 侮弄措紳 ロウス 展轉 コナシツケテ

莫敢出氣 イキニモダサズ 附託 ツケコミ 納貨 ツカヒ 展轉 ダンク

于恩澤 ウケン 露政 サラヌヤウダ 露政 ハ、木中ニアル虫ナリ

隱 リ、ワルキコトヲスル 疎忌宿將 ヨクシテ推臣下ニアルコトヲ欲セス 洛 ニ入ル

外兵 兵ヲイフ 詭辭 コノロノホカ 星行 夜ヲコメテ 宣競 ヤカマシク

自理 スチミチヲ立テ 遇 サ、ヘト 安 トコヘカ 從衆 オホゼイノモ

守節 キミヘセツギ 殿 アトソナ 神色沮喪 ヨハツタヤウスガ

吾不濟矣 コノ方ガオモフ 歛樂器覆屍而焚之 オンガクノグウグニ

上賤勸進 表ヲクテマツリテ天子ニス 内難 帝ノ流矢ニ中ツ

明宗 チヒトノ言フコトヲキカナイ 時論不與 時人ガロンラタテソノ 牙兵 本陣ノ兵 不猜 イ

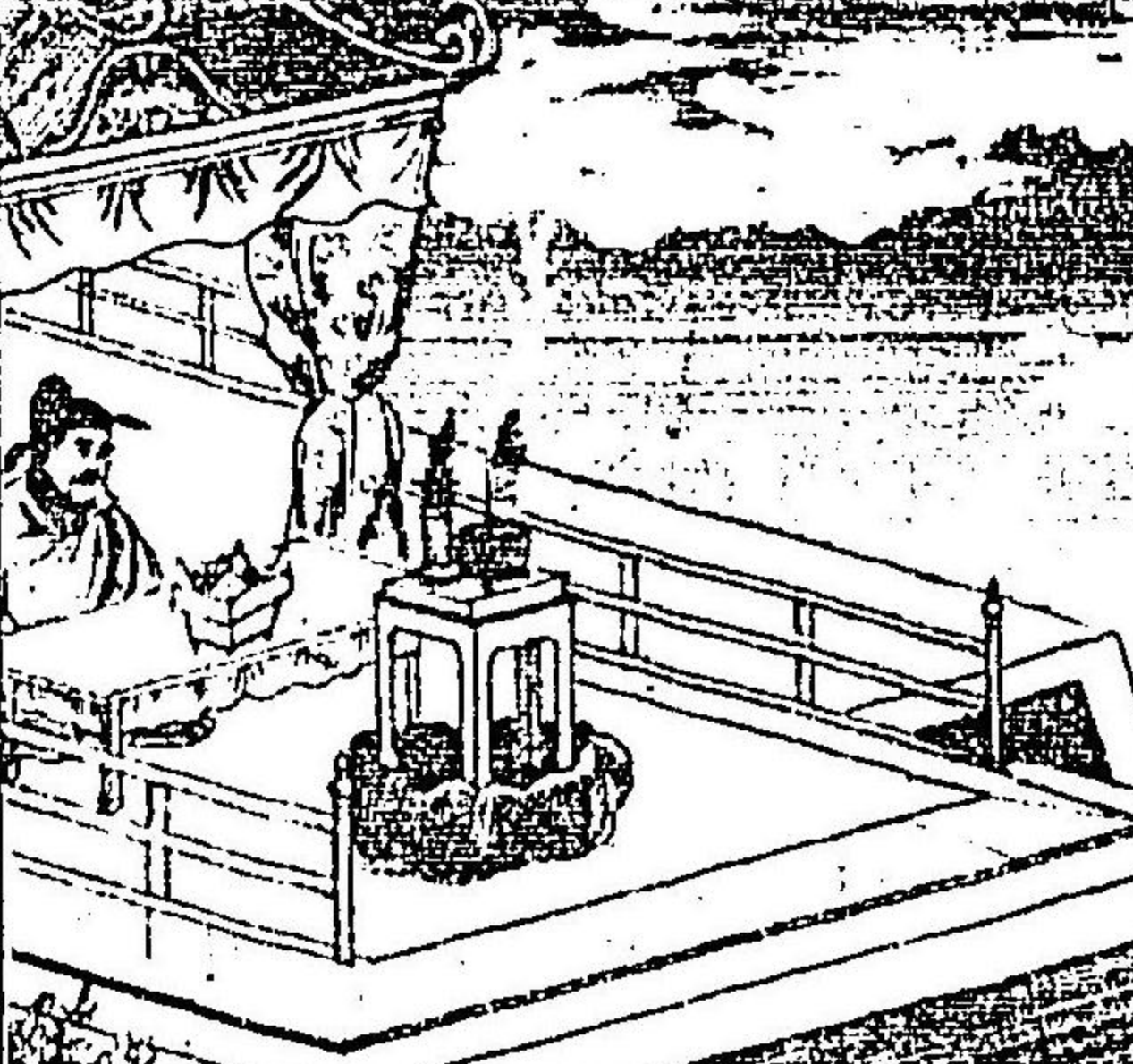
忌 心ニ邪推ラマハシテ 無競 アラソ 登極之年 キニ

生民主 天子トイ 内無聲色 ナリモノナグサミヤ

外無遊畋 アソビヤカリ 内藏庫 オテモト 廉吏 レ

於道 シセントミチスデ 小康 世トスコシオダ 暗合 ニ

閔帝 肝心ノバ 寬柔 ユツタリトヤ 少斷 モノヲサ





ハツタナ
キコト

洛王

無全理

安全ノ道理
ナキコト

清帝側

天子ノソバニオ
ル、ワルモノヲ、コ

班迎

上下ノセキジユンヲ、タテ

洛王ヲ、ムカヒニ、デル

自全

始終無事
ノハカテ

晉

姓ハ石氏モト西夷梟獍ノ子晋王李克用ヨリ雲翔
ノ間ニ起リ大梁ニ都ス凡ソ二君年ヲ得ル十有一

高祖骨立

病デヤセオトロヘ、ホネ
ノ、ミユルヤウニナル

不以為虞

ヤウジンヲシナイ、ムホンナド
ヲ、スルトハ、オモツテオラヌトイ

草表

表文ノシタダ
キスルコト

事捷割地

ムホンヲシテ、ソノコトヲ、カチトグレ
バ、デメンヌサイテ、セラフトイフコト

太過

異日

アト

將校

クミガシラ

飛狀

府舍

シヤク

備殊禮

カクニツル人、ア

飛狀

書ニシタ、メテ、景
状ヲ、急報スルコト

繁富

出帝輔立

キニツケテ、クラ

長君

シタキミ

主議

ヒヤウギ、カシ

告哀

回圖使

契丹ノ官名、晋ニ往來シテ、
交易ノ諸事ヲ、ツカサドル

北朝

契丹ノ

稱孫足矣

高祖ガ契丹
ヲ、父ト稱セ

遜

クチヒロニ

胡騎

エビス

四出剽掠

アチコチヘ、テ、カ
ケテ、カスメトル

打草穀

下莊斃鋒

イハレナリ

及

ワカキモノハ、
カ、リ、コロサレル

老弱委

財帛殆盡

家財モ衣類モ、タイガ

括

イ、ナクシテ、シマツタ

判三司

官名、
塩鉄度

優賜

十分ノ、オ

括

イ、ナクシテ、シマツタ

迫以嚴誅

フコトヲ、モツテセノタ

不聊生

ツカヌコト

願給

分配シテ

欲輦歸

アンドリモノヲ、ケルマニ、
ツミノセテ、歸ラントスル

漢

姓ハ劉氏、劉知遠、太原ニ居テ、事ヲ起シ、中国ヲ得ルニ、及テ、自ラ、東漢ノ顯宗ノ第八
子、淮陽王、暉ノ後ナルヲ、以テ、國、因テ、漢ト号シ、大梁ニ都ス、凡テ二君、年ヲ得ル五

高祖

軍中トイ

攄形勝之地

形勝スグレシ
土地ニ、コモル

稱兵

イ、ウサエ

奈何

以一紙制書自投虎口

コト

イ、チ、マイ、ノ、ヲ、カ、キ、ツ、ケ、ヲ、モ、ツ、テ、ア、ブ

肅然

ソリ

帝

乾ケル肉ヲ、祀ト云フ、天子

帝

ナキメニ、ア、フ、ノ、ハ、バ、カ、ラ、シ、イ、コ、ト、ダ

肅然

ソリ

帝

カスモノ、ナキヲ云

帝

ナキメニ、ア、フ、ノ、ハ、バ、カ、ラ、シ、イ、コ、ト、ダ

肅然

ソリ

隱帝

スル、敬テ下知ヲ、オ

帝

カスモノ、ナキヲ云

帝

ナキメニ、ア、フ、ノ、ハ、バ、カ、ラ、シ、イ、コ、ト、ダ

隱帝

スル、敬テ下知ヲ、オ

帝

カスモノ、ナキヲ云

帝

ナキメニ、ア、フ、ノ、ハ、バ、カ、ラ、シ、イ、コ、ト、ダ

招納亡命

ア、カ、ケ、オ、チ、モ、ノ

繕甲兵

武器ノ、ツ、ケ

上

繕甲兵

武器ノ、ツ、ケ

繕甲兵

武器ノ、ツ、ケ

繕甲兵

武器ノ、ツ、ケ

上

上

上

上

上

上

漢高祖

漢高祖

漢高祖

漢高祖

漢高祖

漢高祖

供^{キヨウ}ゲル^シア^ニ不^シ稟^シ承^ル ミコトノリ 總^ス機^キ政^サ キミツノセイジ 公^キ忠^{チウ} 忠誠ヲツク 遺^イ

利^リオチコボレテ オチコボレテ 供^{キヨウ}饋^キ不^シ乏^ス イリヤウガサ 須^ス用^{ヨウ}長^{チウ}槍^{チウ}大^{ダイ}劍^{ケン} オホキナリト

ルギヲヨウダテル^ル ○武^ブヲモツテ天下^テヲキヨ スルカエハ文ハ用ユルニタラナイトイフコト 毛^{マウ}錐^{スイ}子^シ フデヲ 取^キ辨^{ベン} トリタテ 握^ウ算^{サン} ニギキ

ソロバン ヲモツテ 不^シ知^チ 縱^ウ横^{コウ} 算法ニ縦ラートシ横ヲ五トス 裂^{サイ}黃^ウ旗^キ キイロナハタヲヒキ

リニキセ シナリ 呼^{コウ}萬^{マン}歲^{サイ} 天子ヲイハウテオ 震^{セン}地^チ オホゼイノヒトガ萬歲ヲヨブ

周 姓ハ郭氏郭威刑州堯山人已テニ天子トナリ自カエ以為ラク周室ノ

太祖^{タイ}宮^{クウ}人^{ニン} 女^メ中^{チュウ} 擇^{タク}姻^{イン} ムコヲエ 顧^コ我^ガ是^シ何^ニ天^{テン}子^シ汝^ニ等^ト是^シ何^ニ

節^{セツ}度^ト使^シ邪^ヤ コノ方ハトノヤウナ天子ニテソノ方ドモハドノヤウナ節度使トオモ 策^{サク}

命^{メイ} 策書ヲモツテ 寧^{ネイ}歲^{サイ} オダヤカ 如^ニ山^{サン}壓^{ヤス}卵^{ラン}耳^ニ 山ハ世宗ワガ兵ニ卵ハ北

世宗^セ幸^{キョウ}大^{ダイ}喪^{サウ} 先帝ノシンダノヲサ 督^{トク}戰^{セン} 合戦ノ下知 左^サ翼^{ウキ} ヒダリ 國^{クニ}家^カ

ガタマゴヲオシツブスヤウナモノデベツダ ンニチカラヲモチユルニハオヨバナイ 督^{トク}戰^{セン} 合戦ノ下知 左^サ翼^{ウキ} ヒダリ 國^{クニ}家^カ

安危^{アン}在^ニ此^ニ一^ニ舉^ニ クニノツブレルトツブレナイト 死^シ戰^{セン} タハカフコト 奇^キ

貨^カノ姑^コ息^{ソク}之^ノ政^{セイ} ソノ日ノガレ 都^ト雲^{ウン}侯^{コウ} 官名殿前ノ諸班直及ヒ歩騎 兵^{ヘイ}

務^ム精^{セイ}不^シ務^ム多^カ 軍兵ハスグレタモノヲクツトビテオホ 農^{ノウ}夫^フ百^{ヒャク}未^ミ能^ネ養^{ヤウ}

戰^{セン}士^シ 百姓百人カラトリタテタモノニテモ 浚^{ジュン}民^{ミン}之^ノ膏^{コウ}血^{ケツ} 百姓人アブラ 簡^{カン}

尤^{ユウ}者^{シャ} スグレ 所^{トコロ}向^{カウ}克^{コク}捷^{セツ} モイクサニカツ 致^チ力^{リキ} オホ

陽^{ヤウ}為^ニ督^{トク}戰^{セン} イクサノ下知ヲ 皮^ヒ笠^{カサ} カワツク 閱^{ケン} ホス 劍^{ケン}跡^{キョク} 太刀キズ 奉^{ホウ}周^{シュウ}正^{テイ}朝^{チウ}

周ノ年号ヲモチサル ○ナニゴト モ周ノ下知ヲウケルトイフコト 不^シ豫^ヨ ウキ 在^ニ藩^{ハン} 晋王タル

韜^{タウ}晦^{クワイ} 才能ヲツ 略^{リョク} イサカモ 應^{オウ}機^キ ソノトキ人バ 出^イ

人^{ヒト}意^イ表^{ヒョウ} ヒトノオモヒツカ 發^{ハツ}姦^{カン}摘^{テツ}伏^{フツ} 姦邪隱患ナ

聰^{ソウ}察^{サツ} ワケル 商^{シヤウ}確^{カク}大^{ダイ}義^ギ 大意ヲロン 絲^シ竹^{チク}



周ノ年号ヲモチサル ○ナニゴト モ周ノ下知ヲウケルトイフコト 不^シ豫^ヨ ウキ 在^ニ藩^{ハン} 晋王タル



珍玩之物 メツラシキモノ 文武參用 文学マキ

懷其惠 オンエラア 所向無前 イグ

登遐 天子ノ崩

宋

姓ハ趙氏涿郡ノ人大祖ヨリ欽宗ニ至ルマデ凡テ九君大梁ニ都スル一百六十七年高宗ヨリ帝昺ニ至ルマデ凡テ九君臨安ニ都スル一百五十二年總テ十八帝年ヲ得ル總計三百二十年

太祖異香

ツネニカハツクヨキニホヒガスル

香孩兒

異香ノア

邀駕

ノリモノヲデムカヘル

恩威

文書篋中

カキモノノイツタハコノナカ

得一木書

周ノ世宗マミバコノサカニ一木ヲ得タリソノ長サ三尺餘ソレニ點檢

黑光相盪

日ノ下アリクロキヒカリガ両方カエウゴクヤウニミユル

推戴之議

天子ノクラキニオシタツトビ

指曰是天命也

日ハ天子ノ象ナリシカルニ

環列待旦

匡胤ノヂンヤ

黎明

天漸クアケテマダツラキコトライフ

擐甲

ヨロヒ

宸門

宸門ノイ

策大尉

初メ

披衣

キモノヲ

被以黃袍

天子

微行

輕出

有天命者任自為之

不汝禁也

整軍

ソナヘラ

輕出

輕易ニ

秋毫無所犯

スシモラン

拒之

ソレヲジタ

羅拜

羅列拜賀

群情

世上ノ人

節度

節鎮ノ費用トナル

統御才

衆人ヲ領シツカフ

制其錢穀

ナニホドカキリラスル

唐季

唐朝ノス

居此位者

天子ニナ

愚不及此

コノコトニコノロガイタラナ

哀矜

哀ハ心ニウケテ

可生之途

チタスカルス

如白駒過隙

白駒ハ日ナリ隙ハヒカゲナリ人生ハハヤス

便好田宅

カツテ

子孫計

後世子孫ノクヲシノ

生死而肉骨

シニシテ

請罷

兵役ヲヤメタ

倚信

マロ

面奏

天子ノ面前ニ事ヲ

号

マウシアダ

田良宅

ヨキト

子孫計

後世子孫ノクヲシノ

生死而肉骨

シニシテ

請罷

兵役ヲヤメタ

倚信

マロ

面奏

天子ノ面前ニ事ヲ

号

マウシアダ

令ツサシ 除拜官職ノハ 熟狀シダイヌカキ 前朝周ノ時代 存形跡宰相ノカタシ

劄子カキツケ〇上表ヲ劄子トイフナリ 批ヒス 所得聖旨宰相ノ方ニゴ下命ニナリシ天子ノオモハ

同列オナジヤ 書字以志之字ヲカキ印ヲ押シテ承知セバコトヲシルス 奏御天子トマノナタリ

表降伏ノ表文ヲ 鑑ミ 推步天文術ノコト〇星曆ヲ推算スルヲイフ 五星聚奎木火土金水ノ五

増減刑名シオキ人カジヤウヲカツテマシタリヘラシタリスル 不豫也ハハイテナイ 堂吏サイシヤウノテモトニオルヤクニン 附會向フニツキ合

有耳汝不聞趙普吾之社稷臣乎鼎鑪ハ恰モ香炉ノヤウニシテ兩傍ニヒツキテ

不可測オシノビデナイツオ 一夕大雪コヨ 太原北漢ノ都トス 頭トス

異甚門ノタキブリガタ 重裯ザブトシ 地坐チザス

呼之アニヨソトイツ 夜久ヨフ 睡不能著ツク

一榻之外皆他人家也三尺ノネタイヲ榻トイフ言フコ 少天セウテン

下邪天下ヲドウデモヨイトオボシノシナサルノカ〇天下未ダヨク一統セズ當時割據ノ王アリユヘニカクイヒ

成算所向モタロミノツヒ 使一舉而下クダラ

邊患我獨當之ヒトセノデ太原ヲクダシタラバクニザカヒノ心配ハ我が宋ノクニヒ

丸黑子之地クマホクロノヤウス 姑試卿耳チヨツトオマヘノオモハクヲ

コロハイマ腰カケル榻ヨリホカハコトニヨレバミンナテキナリスコシモユダンナラヌトイフコトナリ
ナト 一榻之外皆他人家也
シロニスワル 熾炭 澤山ニスミ 行酒 酒リヤスル 以搜
呼之 アニヨソトイツ 夜久 ヨフ 睡不能著
イフ 一榻之外皆他人家也 三尺ノネタイヲ榻トイフ言フコ
コロハイマ腰カケル榻ヨリホカハコトニヨレバミン
ナテキナリスコシモユダンナラヌトイフコトナリ
下邪 天下ヲドウデモヨイトオボシノシナサルノカ〇天下未ダヨク一統セズ當時割據ノ王アリユヘニカクイヒ
レナ 成算所向 モタロミノツヒ 使一舉而下
邊患我獨當之 ヒトセノデ太原ヲクダシタラバクニザカヒノ心配ハ我が宋ノクニヒ
トリデヒキウケテヤラフ〇邊患 削平 諸國ヲセンタヒ 彈
ハ契丹ノセノコムコトヲ云フ



世仇代々ノ不和 宜モツトモ、シヤトイフコト

無所聞不和ナコト

因此一方之人モヨリ地

方ノ人民ヲコマラセル○北漢カラ求ヘアヤマラスニタビクイクサヲシカケルユヘ河東ノヒトガコマルヤウニナル

復命ヘン 中國宋ヲ云フ 區ク

守此グズクトシテ、瑣小ノ事ヲスルノハ

不血食マツリカタヘル○肉食ナヘ先祖ヲマツル

内附中國ニツク○コウ

沉毅果斷オチツキタル性質トセ

補綴ヒキサカレタ、表文ヲツクロイツミル

閣後小門ノウラ

訐ウチノコトヲヌケル

副普普ノ介添ヘナリ

不宣制詔命ヲ百官ニ達シナイ

押班普ト列坐ス

不知印文書ニ自分ノ押印セヌコト

威信威嚴ノ信義 自歸オツカラス

頃自然ト思ニナツキ降伏スル

失色キモヲツブシテ顔色カハルコト

不差尺寸チツトモチガハナイ

其說累數百ワリツグドキ

江南無罪江南ノ人ニツミハナイ○江南ノ人ノイノチヲダスケテクレロトイフコト

臥榻之側豈容カク

辭氣言葉顔色トモニダシキツクナル

不須多言コトバ數ヌイフ

臥榻之側豈容カク

他人鼾睡乎臥榻ハネドコロカシ衆ノ天下ニタトフ鼾ハイビキ睡ハネムリ言フ心ハネドコロカシ衆ノ天下ニタトフ鼾ハイビキ睡ハネムリ言フ心

徂冬徂ハユキ遠ザカル、遠ク冬マデイタルナリ

早爲ツ

之イツコリモヨキシヨチ

宇縣分割天下ガヒトツニ

橫罹鋒鏑ツミ

圖籍書物

衣衾トヤグ

通其榜子カキツケテ、サシ

儀衛キヤウ

在德不在險クニヲダモツノハトクノオホキトスクナキトニヨルコトニテ地

經ツ

離亂兵亂ニアフ

欲據山河之勝而去死兵ヨウガイノヨキハシヨニキ

民力殫兵卒ノ召募多ク

封緘カタク、フウ

章疏文章

垂白シラカニナリカ、リ

黃袱キイロノ

幹事回征討ノ事ヲナシ

經ツ

儀衛キヤウ

在德不在險クニヲダモツノハトクノオホキトスクナキトニヨルコトニテ地

經ツ

離亂兵亂ニアフ

欲據山河之勝而去死兵ヨウガイノヨキハシヨニキ

民力殫兵卒ノ召募多ク

儀衛キヤウ

在德不在險クニヲダモツノハトクノオホキトスクナキトニヨルコトニテ地

經ツ

離亂兵亂ニアフ

欲據山河之勝而去死兵ヨウガイノヨキハシヨニキ

民力殫兵卒ノ召募多ク

儀衛キヤウ

在德不在險クニヲダモツノハトクノオホキトスクナキトニヨルコトニテ地

經ツ

離亂兵亂ニアフ

欲據山河之勝而去死兵ヨウガイノヨキハシヨニキ

民力殫兵卒ノ召募多ク

儀衛キヤウ

在德不在險クニヲダモツノハトクノオホキトスクナキトニヨルコトニテ地

經ツ

離亂兵亂ニアフ

欲據山河之勝而去死兵ヨウガイノヨキハシヨニキ

民力殫兵卒ノ召募多ク

殿 オザ 洞開 クワラリ 端直 マツ 軒豁 カラリト 壅蔽 フサギ 邪曲 ヤコク

郊祀行賞 カウシ 天ヲマツル礼式天子ノホカハオコナヘヌマツリナクネル

增給 マスキ テアテマスコソノ車駕ニコセウスルノ勞アルヲモツテ特ニ命シテ給錢ヲマスコト人ゴトニ五千トアリキ

援例 ヒキ 御直馬増給ノ例ヲヒク 陳乞 チンキ ソノコトヲノベテ増給ヲ乞フ

配隸 ハイリ ニンズクバリ 直 チキ 宿衛ノバンヲイフ 撫髀 ブヒ ヒザヲタ

束誠為兒戲 ソウマク イクサノタバシキ、ソクテグンゼイノトリシマリヲスル

唯有劍耳 ユイ コロシテ 分理 ブンリ ワケオ 禍難 ワナ ムホン入冠ノ難

滌濯 セツ 縁葦簾 エン ヨシノスタレヘ 晚節 ワンセツ テカラ 投竄 トウソ ヲク

禮而存之 レイ テイネイニ、アツカフテ 從祀 ジュイ 合殿ニマ 殺已降 コロス 白起趙ノ降卒四十

不武 フブ ヨハイモノダ○ナホ武道ニハ 輟朝 チュウ ヒキコモリテオル

節 セツ 臣ノミサホヲマモリ末 追贈優厚 ツイ 追テ韓通ニ中書令ノ高官ヲオクリシコト

授節鉞 ジュ 節ハ節鉞ハ斧鉞、ゴノニツノ者ハ、大將軍ニ、ソツソツナル

薄之 ハク ソノ不忠ヲウケケモノナリ 草制 ソウセイ 詔書ノシ 依樣畫胡蘆 イ 旧例ノ文句ヲ拾フテツクル拾モ

不次撰用 フジ 順序ニカ、ハラ 稱職 シュウシキ 職務ニタヘ 久任 キウジン ナカクツト

舉主連坐法 キウ 人物ヲセンキヨシテ、センキヨヲアヤマルモノヲハカリテ任スル

真極刑 マキ 死罪ニ處スルヲイフ 苛政重斂 カク 賦税ノトリタ

商征 シヤウ 商人ノ 麴塩酒禁 キョク コウジヲツクリレホヌ者サナリ

必抵罪 ヒ ワザト人ヲツミニ、オトスモノハ、即チ、ソノ 大辟 ダイ 死

折杖 セツ 罪人ヲ、タ

新刑統 シン 新タニサダム

差役 サ ブヤク○コレ、人民ヲ、役ス

重二應 ジュウ テ、分ツヲ、云フナリ

新刑統 シン 刑書ノナ

差役 サ ルノ法ニシテ百姓ノ身代

補 十八身 三 類 全 卷之三

三應 二等級 版籍 戸籍 戸帖 戸籍ノヒカヘニテ人 戸鈔 戸券 度民田有

不實者 田畠ノ檢地ニサホヲノバ 賑饑 戸籍ノヒカヘニテ人 戸鈔 戸券 度民田有

及 氣ヲツカフコト 孝悌 親ニヨク事フルヲ孝トイヒノ 親策制科舉人 分

ニテ經學吏ノ三科ヲ策ニシル 放進士榜 考官年ニシカクヨリ進士ノ次第ヲカキツ

朝禮部ノ貢舉ニ合格及第スル者ハ名ヲ列シ榜ヲ尚書省ニ出ストアリキ 覆試法

三スル 書判 拔萃 書ハ手跡判ハ公事裁判 遺書 世ニアラハ 史館 史館ノカキヤクノヤ

日曆 毎日常車ヲ行 制度 典章 彬々 有條理 亂

太宗 長象 戢 戒標 掠 社稷之福 餘慶 紫

氏 前朝ノ周 萬歲後 長君 社稷之福 餘慶 紫

記 趙普カツテ掌記タ 記 居レト云フ 署紙尾 證人ト

書スル 金匱 友愛篇 至 灼

艾 分其痛 龍行虎步

布衣 十策 善其某策

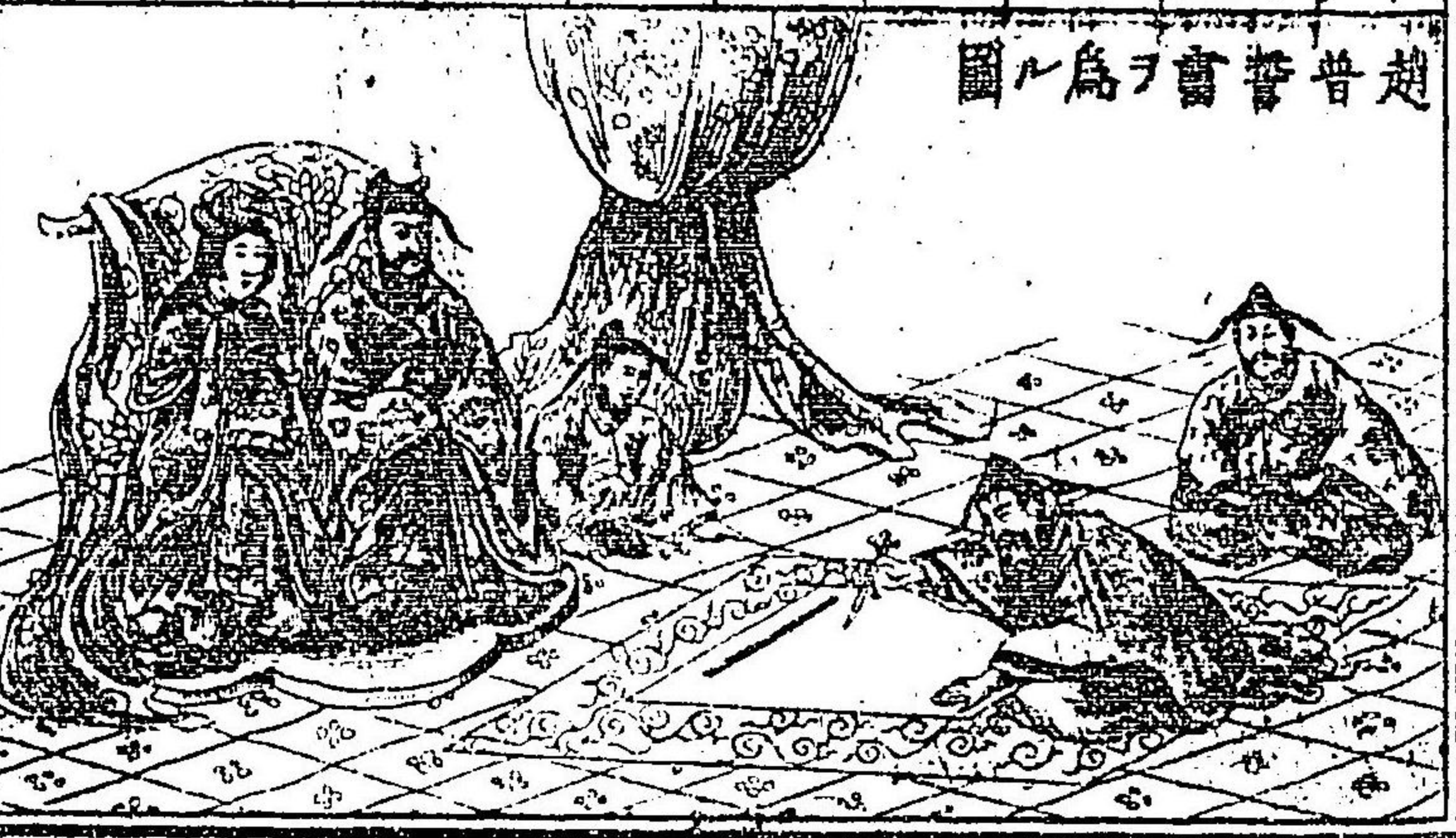
所 傳位之定久矣

離席之狀 燭影下

託官家 官家ハ天子

天下ヲ官ニス故ニ之レヲ賢ニ傳フ三王ハ天下ヲ家ニスコヘニコレヲ子ニ傳フイマ天子ヲ

サシテ官家トナスハ天子ヲサレテ敢テ正レクイハズ尊ヲ尊トスルノコトナリ



趙普嘗爲圖

層一八 各三 頁八 卷之三 宋太宗 十

廉察 キツバリト 第 甲乙ノシタ 罷軟 多病虚弱ナ 不勝任 ヤクニ 惰慢 サマ

不親事 分ニアツカハヌ 不叙 モチキ 口捷 モノイヒハ 舉止 タチフル 雜

類 スチメイヤ 清望官 清要ニシテ職 諭旬 十日ヲ 待汝自爲之賞未

晚 リノ方ガ天子トナツテ後チ恩 太祖已誤 太祖ガ子ヲ棄テ弟ヲ立ツモ 講習 講レ文 後進 アトカラス、ンテ 其節 モチマ 旌 カケフダラシテソ 詰 トヒツ 金

碧熒煌 キンヤアヲ、キカザリニ 途膏藥血 天下ノ財室ヲトリアツテ造營スル 移兵 半途ヨリ兵ヲ 内府 オテモト 土狹 土地セマタシテ

鮮仇 サカナ 不無賦外之科 フタリマヘン、稅物ノホカノ 霖潦過度 ナカアノタマリミ

道聞 俗事ニダツシタル 手不釋卷 シジユウ、ホン 晚出 アトカ 甚推之 ガ

越班 セキユンヲ、コヘテ、コタヘヲ 大慈 大惡人ト 容蔽 カバヒタテ 以吏

疏 カキ 上第 科甲 册子 チヤウ 夾袋中 ハナガミフクロノナカ 紙用 イル

真宗舉人 カデウニテヒキ 來和天尊 カミノナ 赤脚大仙等 ノコトナリ仙人

記室 官名 王門廝役皆將相 義王ノ門下ハシモベノモノモ

王可知矣 王ノウンノヨイコ 王均反 ムホンヲ、オコス 親征 天子ミツカ 駐蹕 天子

知州 州ノ刺ニ拜 求援 乞フ 要而擊之 シテ、カフ 潭 向フニテ、イカ

姑 マア、イフコト 釁鼓 古、軍ヲ出ス、性ヲコロ 親征 天子ミツカ 駐蹕 天子

陛下若不過河 百姓如喪考妣 此時尚責人失禮 コノヤウナサハギノトキデサヘ

大挫 オシヒシ 渡河 黄河ヲ、ワタリ、契丹 力贊 セイダシテ 猶豫 コ

陛下若不過河 百姓如喪考妣 此時尚責人失禮 コノヤウナサハギノトキデサヘ

此時尚責人失禮 コノヤウナサハギノトキデサヘ

此時尚責人失禮 コノヤウナサハギノトキデサヘ

此時尚責人失禮 コノヤウナサハギノトキデサヘ

此時尚責人失禮 コノヤウナサハギノトキデサヘ

此時尚責人失禮 コノヤウナサハギノトキデサヘ

此時尚責人失禮 コノヤウナサハギノトキデサヘ

此時尚責人失禮 コノヤウナサハギノトキデサヘ

此時尚責人失禮 コノヤウナサハギノトキデサヘ

此時尚責人失禮 コノヤウナサハギノトキデサヘ

此時尚責人失禮 コノヤウナサハギノトキデサヘ

何不賦一詩退虜耶 ナセ詩ノヒトツモツクツテエビスドモヲオヒハラハナ
イノカ○梁適詩文ヲモツテ用ヒラルエヘニ瓊イカツテ

以テ官ニツクエヘニカクイフナリ コノ言ヲ吐クトナン詩ヲヨクスルヲ
以テ官ニツクエヘニカクイフナリ

陷虜 コノ言ヲ吐クトナン詩ヲヨクスルヲ
トナルコト 和好 和ハクハク
地必不可得 チノンハドウシテモヤル
復

生心 ラマタ仇スル
心ヲオコス 使隻輪不返 隻輪ハクルマノカタワ言フハ三ナゴロ
シニシテ一人モ國ニカヘサヌト云フ 生靈 生
靈

重困 カホテ
百姓ガマタ 歲賂 財宝ヲモツテ情
義ヲハコブナリ 交誓 約東ヲト
リカヘス 殿廊 ゴテンノ
廊 不

責汝浪戰 マツタニイクサヲセヨ
トイヒツケハンナイ 以軍法可從事 軍中ノオキテヲモツテ
トリハカラフ○斬罪ニ

福 フコト 修齊 スルコト 待 タラフ 目送 目ヲ送
テオクル 城下之盟 他國カテキタリ
ウツテ我が城下

言ヲ託シテ帝ヲ シホレテ耻
ヲ憂フル負 澶州之役 澶州ノ
役 孤注 バウチヲシキリニ
ウチマケテシマイ 寢薄 イツカウ
トマシキ

氣 ニナ
ルコト 祐不做 王祐ハ重職ニナラジト○自分
ハ三公トナラザルコトヲイフ 深沉 オチツキ
タルコト 德望 ヨキトクトジ
ンバウ

屬之 ヨセル 塞上儲糧 クニザカヒノシロニタク
ハヘテアルカテ米ナリ 刷耻 澶州城下ノ盟ヲ云フ
刷ハハケテハク氣

味 ナ 鎮服 キフク
サセル 誇示 イバリテ
ミセル 天瑞 天カラ下ス
メ 以人力為之 ラナス
イハキ

ツトウルトイフワケニハイカナイカラワザク人手ニ テコシラヘソレヲ天カラダト信ジテタツトベバヨイ 洛書 夏ノ禹王ガ水ヲオサメシトキ
亀ガ文ヲセオフテキタコトガ

書ト云フナリ アルコレヲ洛
書ト云フナリ 神道 フシギ
ノミチ 設教耳 オシヘラコシ
ラヘタモノ 天書 イツワリテ書ラツクリ天
カラアツテキタ書ト云フ

后土 地神ヲ
イフ 天下 ハウバ
ウニ 天慶觀 ミヤ
ノナ 節用愛人 イリヨウヲホドヨク
シテヒトヲカハヒガ

ル コ 使民以時 百姓ヲアヤクニツカフニハ
耕作人ヒマノトキニスル 誦 ソテニオボ
ヘテアル 不足煩上聽 タラフコトヲカハヒガ
カ

三へ申シアゲル ニハオヨバナ
イ 疾苦 ナンギ
ガ 血氣方剛 氣ノハヤリテ
ツヨキコト 聲色犬馬 オンガク
ヤオン大

ヤ犬ヲハナテ馬ヲハ セテカリヲスルコト 土木 フシ
ン 禱祠 イノソマツル○封
禪天書ナドヲ云フ 削髮披緇 カミヲキリ
僧衣ヲキル

歛 死者ヲ棺ニオ
サメルコト 得君 君ノテウアイ
テウケル 不能以正 正道ヲマモツテ命ヲ
オハルコトヲデキナ

カツタ ○異端ノ礼ニ
シタガフコトヲイフ 吾榜中 コノ方ト同時同榜ノ進士○榜ハ標榜蓋シ士ヲトリ官ニエ
ラブノ次第コレヲ榜ト云フ吾榜中トハイツシヨニ進士ニ

ナリシ仲間 ヨキ人物 面折 天子ノマヘニテソノ非ヲクジキ
ホセイノ人ト廷上ニ議ロシラス 風采 風儀
ガヨイ 方面之寄 キ

ト云フコト 増

増 一八史略字類大全 卷之三 宋真宗 十二

王謂冠華ノ鬚ヲ拂フ圖



一方ノフセギラヒキウケル○一

會食 中書ニテ食食スルト

汚レヨゴ

拂之 ノヲフキトル

昏眩 目ノミ

仁宗 始生

道人 老子ノミテヲ

莫叫 ナ

何似當初莫笑

最初ワラハナイノガマシテハナ

赤脚 赤脚ノ名

顛上 帝

垂廉 母后朝ニノゾミ

包藏

徒跣ナリ

驗

山陵 帝王ノ葬リハ

禍心

皇堂 墳穴ニテミサ

絕地 絶氣ノ地ニテ

責詞

春秋無將

事ノアラハ

漢法不道

漢ノ世ノ法ニ

禮部

當拔眼中丁

發解

狀元三場

快氣味ヨシト

不在温飽

所進退

寇老

不在温飽

所進退

延試

不在温飽

所進退

喫着不盡

不在温飽

所進退

頼以為重

不在温飽

所進退

疾革

不在温飽

所進退

無所發明

不在温飽

所進退

不知人間有

不在温飽

所進退

羞耻事

不在温飽

所進退

有力焉

不在温飽

所進退

越職

不在温飽

所進退

疾革

不在温飽

所進退

無所發明

不在温飽

所進退

不知人間有

不在温飽

所進退

增一八史略字類大正

卷之三

宋 仁宗

十三

ジツニハチヲシラヌトイフ○按スルニ仲淹ツミナクシテ貶セラル歐陽修書ヲ着訥ニ遣ツテ
セムルニ仲淹ハ剛正古今ニ兼通ス班行中トモニ比ヲナスナシ今君諫官トシテ目ハ人ノ非辜
ヲミテ辨スル能ハズ尚或靦面以テ士大夫ヲミテ朝廷ニ出入スマタ人間ノ羞耻ノコ
トアルヲシラズ今ヨリ後夫足下ノ君子ニアラザルコトヲ決シテ知ルトイヘリ

一不肖 四人ノスグレタ人ニヒ
因對 言シテ事理ヲベ
斥 山ヲマヘニアテ
示恩 言シテ事理ヲベ
四賢

無所建明 建言シテ事理ヲベ
無所補 言シテ事理ヲベ
阻 山ヲマヘニアテ
政事府豈養病坊 政事府豈養病坊
相戒 互ニ申シ合
為意

女奴臣 范雍ヲ
坐 言シテ事理ヲベ
無所補 言シテ事理ヲベ
政事府豈養病坊 政事府豈養病坊
相戒 互ニ申シ合
為意

耶 養生所デハナイ○張子遜相位ニアツテ國家ニ補
益ナク多病ヲ稱シヒキコモルヲモツテカタイヒシナリ
相戒 互ニ申シ合
為意

小范老子 范仲淹
大范老子 范雍ナリ○以上ノ二句蓋シ年齢ニヨツテ
才モフ

胷中自有數万甲兵 仲淹ガ軍器ニスル
一韓 韓琦ヲ
心膽寒 心膽寒
宣力

一范 仲淹ヲ
驚破膽 驚破膽
不得大逞 十分ニゴ、ロザシ
宣力

居多 八タラキタコト
西夏之撓 劉平戰死シテ官軍
泛使 諸國ニタル使者
石

晉 五代ノ晋ハ石姓ナ
接伴 接伴
任事 任事
抗 抗
侵 侵

報使 契丹ニ回報ス
往返論難 ユキ、シテ
國書 天子ノ書翰○天子ヨリ授
故

為異同 富弼ニフクメシ、口上ト書面ノ
回奏 奏カヘツテ奏
易書往 易書往

弊事 弊事
盛德事也 盛德事也
衆賢之進 衆賢之進
如菰斯拔 如菰斯拔

大女奴之去 如距斯脫 大女奴之去 如距斯脫
為此怪鬼輩壞事 為此怪鬼輩壞事

得詩 聖德ノ詩
拊股 拊股
為此怪鬼輩壞事 為此怪鬼輩壞事

終始如一 終始如一
以平責之 以平責之

召對 召對
賜坐 賜坐
給筆札 給筆札

列奏 列奏
明黜陟 明黜陟
抑僥倖 抑僥倖

精貢舉 精貢舉
擇官長 擇官長

濟 濟

列奏 列奏

精貢舉 精貢舉

均公田 百姓ヘワタス田地 厚農桑 耕作ノ業ヲアツクセワスル 減徭役 人民ノ使

覃恩信 オンアイセジツイヌ公平ニ衆ニオヨブヤウニシナケレバナラヌ 府兵 每府農カラエラビアゲテ兵トナス今ノ徵兵ノ如シ 宣撫

不安 ソノ位ニオチツカナイ 裁 裁畧シテオサヘトイメル 内降 天子ヨリ内々ノ命カ下ル○

寢格 スノマ、ニ封還内降 内降ノ詔旨數十通ヲタメオキ封シテ天子ニカヘスコト 以不

可告 宰相ヘハナシテ 監 驚故紙 反故(ホグ)ノカミヲウル 公錢 ヤクシヨノ不便 カツテ

置獄 公事ヲ一網打去盡矣 ペンデヤツテシマツタトイフ 反覆數

歲 納款 降伏ス 策命 詔書ヲ下シテ王爵ニ封スルコト 除四使 一日ノウチニ

裏行 班裏ニアツテ準御史ト云フゴ、ロナリ 劾奏 ソノ罪ヲキハメテ奏聞スル 燈籠錦

人情如此豈不賢於夢ト哉 人心ノヨロコブコト、コノトホリ、ナレバムカシ、般ノ高宗ヲ夢ニ傳説ヲ

慨然 イキドホリナゲク哀 遜避 キリニスル 知制誥 官名天

誤 鈎餌 魚ニクハセルノ食ノ即チツリバリノエサ 已悟 ヒテ 不情而遂

非 鈎餌ヲノミコム、コレ非ヲ遂ルナリ 重名 名譽ガオモイ 不近人情 ツネナミノ人ノ

女奴 邪惡ノ行ヒヲ姦トイヒウシ 三劄 三ヶ條ノ御臣 臣下ノ人アツカヒ 揀軍

五規 五ヶ條ノ保業 天子ノ業ヲタモツ 惜時 ウカクシテハナラヌトイフコト 遠謀 眼前ニマ

謹微 事ハ初メニ注意セザレバ末ニハ大害ノオコルモノダカラ、以テ微少ナルヲテ

承平 世ノナカオダヤカナルコト 外退 天子ノ崩御 終始如一 日 一生ノ徳スコレモカ

垂簾之政 劉太后セイジテキク、番簾ハ太后制ヲ稱スルヲ云フ 西鄙 西夏

窮谷 オクフカ 莫不奔走 ミナクカナレンテカケアルクコト

英宗固避 カタク辞レテ帝位ニ 數四 たび 以憂疑致疾 帝初ノ立ツトキ

政事ヲキクヲモツテ、官者讒間シテ、兩宮和セス、帝憂疑シテ、疾ヲイタス、幸ヒニ宰相韓琦歐陽修

等ノ調護スルヲ以テ安スシ、然レテ大臣ヲ優禮シ、民ヲ愛シ、儒ヲ好ム、良主トナスニ足レリトゾ

舉措 日々ノ行 改常度 天子常例ノ尤少恩 スグレテイタ 讒間 ザンゲンヲ

曹太后母子ノ 兩宮 英宗ト太后 成隙 ナカノワル 調護 トリナシ 康復 疾ノホンブク

中ヲヘダテル 英宗ト太后 成隙 ナカノワル 調護 トリナシ 康復 疾ノホンブク

增十八史各字類 卷之三 宋 英宗 十五

補一ノ身明字類ナシ
空頭救 アテナノナキ救書
安置 オセコ
交闘 不和ニシテ

第ニガナシニ先ツテ
有説 子細ノバナシガア
安置 オセコ
交闘 不和ニシテ

言分テ起 スヲ云
典禮 ギシ
稱親 オヤトイフ
交論 イリマヅリテ
解言職 諫官ノツト
竟不決

ノモアルニヨリソノロンニ
交論 イリマヅリテ
解言職 諫官ノツト
竟不決

トウキキ
交論 イリマヅリテ
解言職 諫官ノツト
竟不決

神宗鞠 ホカニタヨルベキトコロナシ
配 皇后ト
入對 オオメミヘ
以擇術為

言 久遠切ナルノ術ヲエラフヲ以テ専務トスルコトヲマウシヤゲル
太平可立致

マタマクウチニ太平
將對 マサニテ對
經筵 書ヲ講スル
相遇並行 司馬君實

ニナテフトミコム
將對 マサニテ對
經筵 書ヲ講スル
相遇並行 司馬君實

袖中彈文乃新參也 ソデノナカニモツテキル
執偏見 カタクナルハル料簡
喜俊

文書ハゴノセツ新任
執偏見 カタクナルハル料簡
喜俊

護呂光馬司

ト並ビ行圖



己 自分ニ詔ト事フ
不得其説 ソノワケノワ
其疏

彈文 トコロ
太過 アマリ
外示 トク
野

往々 トコロ
中藏巧詐 ハラノウチニ上手ニ

驕蹇 オゴリ
陰賊 ヒトシレズニワガ方ニ
害

手詔 チキ筆ノミ
喻 セツトクレテナ
三

司 塩鉄度支
條例司 レノク
泉府之官 ゼニ

變通 物貨ヲ手ビロク
泉府之法 商稅ヲ

得氣之先 サキヘヤウキ
收利權 トク
散歩 ハ

飛類 モノ
得氣之先 サキヘヤウキ
南士 安石ハ南方ノ

地氣 キ
飛類 モノ
得氣之先 サキヘヤウキ
南士 安石ハ南方ノ

多事 サワガシ
青苗法 ナヘノマダアホキトキニ常平倉ノ米粟

周官 周世ノ
國服為息法 シナモノヲカレテソノ國ニキルモノヲ

作省戶 テ江上ヲフサ 置詩書周禮二經義局 王安石ノ作ル所ノ詩經書經周禮ノ新義ト云フ書ヲ學校ヘ頒示シテコレヲ 浮屍蔽江 水ニ投スル數尸アマタアリ

困頓 飢寒ナシ 違々 ウロウロ 不給 物ノアラダ 逐日 オノオノ 所見 コトガデキナ 百不及一 コトガデキナ

畫為圖 ナンジウラシテオ 不相保 安心シテクラス 遷移 ルラウシテウ 監安上門 安上

傳習 セシム 士ヲ誡 ムルニ專ラ 檢討 コミイツ云 流民 ルラウシ 傳法沙門 秘密ノ法ヲ師僧ヨリ弟

手實法 ニシベツヤ田産ノ高ヲホントウニカキアゲサセテモシカクシモ 逆閉其 テ

途 車ニサキダツテ安石ノ再ビ宰相ニナラ 私書 ナイシヨム 戶馬法 保馬法ト 天

資 ウマレ 集賢 曾公亮 典故 旧典ノ事 藩臣之體 ケライノナ 兩朝顧命 仁宗英宗ノエイゴシラ

定策元帥之碑 天子ヲタツル策ヲサタメオホヒナルテカ

沿邊 クニガカヒ 增修成壘 國界ヲマモルトリ 起鋪舍 ウリモノハ 侵入

行殿 アチコハシテ 界至 四方ノサ 榆柳 ニレヤナギ 成長 シテ蕃

都作院 武番ヲコレラ 降弓刀新樣 弓矢セ刀劔セ新式ノ工夫 斷 サバ 管

商政 齊ノ管仲泰 富強 クニヲトマシ 濟其欲 富強ノ志欲ヲマリ 邊鄙生

事 クニガカヒガ 喪敗 地ヲウシナイ 生農南方 ウツハノワレメニヒバノイル

土丁 カキモノ 聲言 ラヒフ 助役法 官吏僧侶或ハ戸主幼年婦女ノイヘゼニ

不能去 吳充ノ職ヲシリゾケントテ女論ス 安置 サシオクト 發錢 青苗錢ヲカシ

業貧民 ビンバウニシテ 贏得兒童 ハナガタヲサゲワタス 語音好 一年強半

在城中 自途ヨリ余計ニナツタモノハコトモノコトバガナレタバカリナセトイヘバ 明法以課 試群吏

唐制進士ノ科名ヲモツテヤ クニノスギミスルコト 讀書萬卷不讀律 致君堯舜終無術

レヨモツヲタクサンヨシテモ法律ノコトヲスシテナケレバ天子ヲ輔佐シテキミヲ堯舜ノヤウ
ニスルモテダテガナイ○法律ヲコ、ロヘナケレバ明法ノニセンニアゲラレヌトイフコ
詩ノコ、**東海若知明主意應教斥鹵變桑田**東海ガモンヤ天子
ノコ、ロヲレツテ
オツタナラバウミバタノシホキノアルトチヲ田畠ニカヘルデアラフ○シ
ホキノアル土地ハ草木モソダ、ヌノニワザトカクイツテツツリシコト
賣買ヲサ
レトメル**豈是聞韶解忘味邇來三月食無塩**ムカシ魯國ノ孔子九韶
ヲ三月ノアヒダ肉味ヲワスレシガテマヘハソフデハナイシホノ賣買ガオサシトメニナツタ
ユヘ三月モタベモノニシホガナイノテゴマツタ○シホノネダシ人々カクナリシコト又カク
イツタ**觸物**モノゴト**即事**事業ヲシカハル**追軼**追捕スル**推治**ギンミ**舉**オカミヘサ
モノ**根到九泉無曲處世間惟有螫龍知**九泉ハ地ノソコ螫龍ハ地中
ノネハ地中ノソコマデスコシモマガラズニアレドモ知ル者ハナクタゞ地中ノ龍ガ知ルハカ
リト○惟々天子ガワガ正直ノ心ヲシロシメストイフ意ナリ此ノ詩句ノ上ノ二句ニ凜然相對
敢相欺直幹凌雲**陛下飛龍御天**アナタハ龍ガ天上ニトビカケリテオル
未要奇トアリキ**三省**中書門下尚書ノ**統領**スル**取吉**天子ノ御意ヲ伺ヒ
ヲサゲラレルヤバツヲ**三**中書門下尚書ノ**統領**スル**取吉**天子ノ御意ヲ伺ヒ
アテラルモノガアル

ウケル**覆奏**トクトレラベテマウレタテル○天子ノ御意人當ヲ得ザ
コト**任責**責ヲトル掛リ**慟哭**フホドナゲク**遺表**死ニノシム
チスル**興利臣**安石等新法ヲタテ、**欽怨**利益ヲエザル上ニ人民
聖念神宗ニヨクク思**公輔之望**三公輔佐ノ役ニモナ
ルカタルヤデオルカハカハト云フコト**一紀**十二年**斯須**スコシ
直視ミテウツラ**宗孟**安石ガ**御製序**天子ノソク
取新舊王安石ノ新法ヲコノム人ト司馬光ナドノ新法ヲ
イフ○即チ新法ナリ**建儲**太子ヲタ**師保**モリ**不御**不御
惟儉ホネヲオリテツト**大有為**功業ヲサカ**北狄**契丹ヲ
メケンヤクヲスル**北伐**契丹ヲセイ**失律**軍ノオキテヲトリ
セメオトサレテ數万ノ**ウチジニ**アリシコト

哲宗大漸 ビヤウキガ急ニオヨブトキ 先是蔡確 蔡確ト邢恕ト岐王顯ヲ立シテコトヲハカル

邀高公繪 公繪ハ太后ノ姪ナリ邢恕イマ之レ 冲幼 オサナキオサナキ 亟去 トトリイソイ

包藏禍心 ワルキタクミヲハ 表裏 内外アリキ 得無 變動ナリ 市易抵 京師ニアル市

播其說 ジブンダチノテカラナリト内外 物貨場 易場ヲイフ 市易抵 京師ニアル市

當 神宗ノ田地ヤイヘヲガキイレニ 地課 地稅 放市易 放ハセニラサゲテ市易ハ官

常平 米穀ヲタカイトキキガヒ 免役息錢 アヤクニデルカ 免行錢 神宗ノ

從中出 太后ノ獨斷 不與 トモニオコナフコトヲエサ 走 ソ

本知司馬君實 公ノ風采名望ヲザガン 外退 崩御ニ 臨 タマヒ 加額 ヲイフ

活百姓 弊政ニクルレミシナントスル人 所在 レヨクトイフ 懼 ヲ

聞道早 道理ノノミコミガ 剛果 事ヲヤリオホセル 嚴怒 テザレノナ

名節 ヨク修行 自勵 ヨク修行 雅有 ツホクカウト云 高趣 スリヤウケン

不除 シナイ 與自家意思一般 ワレランコハロモ 灑落 トシタル

光風 アマアガリノカゼ 大極圖 無極ニシテ太極陰陽五行ノ 通書 四十

所樂何事 即夫論語ニイハユル樂ミ亦其中ニアリ 斯文 コノ語論語ニモトツイ

一命以上 九品ノ位ニテ士 苟存心於愛物於人必有所濟 アタラシク

衆論 ホホクノモ 淑諸人 後學ノヒト先輩カテオシヘモ 賢 マ 焉 モノ

莫知所之 ドウシテヨイ 肆 オモフマ 遺經 コソリテオ 異端 聖人ノ道トチガ

無所不學 横渠先生初年ニ孫吳佛老ノ學ニ 玩心 心ノモテ 高明 タカク

消長 スミシ 達萬物變 周易ニ通シ象數 只是 カ 加倍法 マシ

雍不許 耶雍ガ數ハ有用ノ數ナルユヘニタビニ姦雄ノ智 古文 ムカシマ 宗 ウノ文章

傳送語言 ソノハナシマアチ 定策功 天子ヲタテタノ 朋邪 ウタ

之 タツト 傳送語言 ソノハナシマアチ 定策功 天子ヲタテタノ 朋邪 ウタ

贈 一八各名頁六八 卷之三 宋哲宗 二十

贈 一八各名頁六八 卷之三 宋哲宗 二十

贈 一八各名頁六八 卷之三 宋哲宗 二十

贈 一八各名頁六八 卷之三 宋哲宗 二十

贈 一八各名頁六八 卷之三 宋哲宗 二十

ムスンテオル 駭吏狀 ゴサタ 悵然 アテニシタコトノハ 姑稍損其甚者 ツレテザンネンガル

足矣 マアソノマニシテチクハナハダ 當如救焚極溺猶恐不及 オモシクハナハダ 父子之議

新法ノ害ヲソクニハ火ニヤケルノヌスクヒトメホニオホレルヲヒキア 父子之議

爲意 キニカ 助役 ヨ 自分及役ニテズニカネ テラコヘテ 無不曲盡 ヒトツク

爲意 ケナイ 獨語 ヒトリゴ 慚 カナレンデキ 感渾不已 ナガレトマラナイ 印鬻之 司馬

起居 キゲ 勅 イマン 開邊隙 クニサカヒニ 罷市 商賣ヲヤスム 印鬻之 光

未嘗不可對人言者耳 マダモトカエ人ニム 妄語 アテコトモナキコト 朝侮 アナル



路荆棘八十年奈何開之 五嶺ノミチヲコシテヒトノトホルノガバラノ 吾曹政恐不免耳 ドモ

交章 タガヒニ章疏ヲア 平舊怨 王安石ノ黨ヲ再用シテ

老身 宜仁太后ヲ 調戲官家 拈宗ヲナブリ 一番人

調停 双方ヲ和 諫 諫官ヲ 死地 シヌルバシヨ 羽翼 オモタチタ 譏訕臺 ツツシ

慶禮 ギシキ 子於是日哭則不歌 孔子夫 禮也 市中ニ枉死セル叔孫通ガコンナ礼式ヲ 散地 閑散ニシテ

元豐大臣 神宗ノ年号安 領袖 エリトソ 諷諭臺 ツツシ

增一ノ身時生類ノ全 卷之三 宋哲宗 二十一

賜出社飯社祭ノ供飯ヲ百官ヘ思量老身ワレテノコトヲトク

不比外家直仁后ノ一家ニ擁祐タシラヒ至公スコシモ私

擒獻トリコニシテ迹雖元祐元祐ノ心在熙豐熙豐ノ

共載ノリモノヲ偏重其可行コギヤラレナイ或左或右カタク

其偏一也ヒダリヘカタヨルモ司馬光シマヒカル

姦邪章惇ガ司馬光ノ新法ヲカヘルヲモツテ此猶欲平舟勢而移左シウセツ

以置右也コレハテウドホホノツガフヲタイラカニナサントシテヒダリニ以漸ヒダリニ

無虛日一日モカン奪贈贈官ヲト連シキヒキツバ罷節鉞節度使

英宗チンガ庶庭乎英宗ノ靈屋ヘハイルヲイヤニオモフカ不欲朕入英宗ノキササヲ

抵ツク追停冊禮オツテ皇后ニカシツク勒停官職ヲト除名名前帳ヲ

管外ヘユカヌヤウニソノ地ニ隱默官京師遇寒疾不汗五日死議論ヲ発セス沈黙シテキルトホクヘ

矣トモ獨嶺海之外能死人哉シラレズニ京師ニ奉職シテキルトホクヘ

無自沮ハルマヅトイマシムルコト徽宗ケイシュウ浪子ダウラクモノ處分ベツ失措アハテハ事收叙ヨサ

追復官モトノ通リ官區々チイサキ精神チイサキ抗アハリ太陽日ヲ射イフ

人先射馬擒賊先擒王人ヲキルナラバマツ馬ヲキルダヨイ反賊ヲイケド

連疏攻之ラシキツニ上書シテ紹述ア

畧マシ迎上旨キニアヌヤウナコトヲマウシマゲル意向コト

祖根本ト渤海之別族也渤海ハモト韃鞨ナリ唐ノ先天二年使ヲツカハシテ韃鞨ノ酋長ヲ拜シテ渤海郡主トナスコレヨリ始メテ

魯ニ魁去ルトイフタトヘナリ

連疏攻之ラシキツニ上書シテ紹述ア

魯ニ魁去ルトイフタトヘナリ

魯ニ魁去ルトイフタトヘナリ

魯ニ魁去ルトイフタトヘナリ

魯ニ魁去ルトイフタトヘナリ

魯ニ魁去ルトイフタトヘナリ

魯ニ魁去ルトイフタトヘナリ

部**部落**三**不相統**一カレクニシテ一致シナイ

籍**籍**罪人ニシテテヤ**女奴黨碑**一カレクニシテ一致シナイ

權**權**寵子ニキホヒノツヨキト天**無損也**一カハラ

滿朝**滿朝**ツパイイ**倡**ラズ**當豐亨豫大之運**一易ノ卦ニシテ當時宋ノ世ハゴ

土納鼎中**土納鼎中**クニクノ水ト土ヲスコシツ、ト**奉安**一オキス

石網**石網**○フホノヒトハコビラ一網トイフ**無遠不致**一遠方タリトモ、ヒキ

村居**村居**スマイ**野店**ミセ**酒肆**ヤ**青帘**一サカウリバハ

博**博**サケヲノンダリ、バク**元宵**正月十五日ヲイフ**星芒**一星ニ尾アルヲ芒トイフ

怪異**怪異**フシギ**誣奏**シテ奏スルコト**祥雲**ハシキクモ**蔽空**一空ノカケル

連理木**連理木**本ハワカレテ枝**雙花笑渠**一ヒトツヘ

稱瑞**稱瑞**トメデタシト**務應奉**一上ノキニイルヤ

勢焰熏灼**勢焰熏灼**ナヤマシクシメル**竊威**一

福於中**福於中**威權ヲホシヒマ、ニスル**務開邊**一

不勝其擾**不勝其擾**イリミダレテウル**深入**一テキ地ヘフカ

号大金**号大金**リニ、タテ、国号トス**捍邊**一クニザカヒラ

虎**虎**オホカメヤトラノヤ**上嘗微行都市肆妓**一

館**館**天子ガマチノサガミセヤ、デヨ**荒禽色**一

編管**編管**イレテアツケル**任責措置邊事**一

建節**建節**節旄ヲ、タテル○大將ノ、デ**頌**一

コトヲ、トリアバク**建節**一節旄ヲ、タテル○大將ノ、デ

コトヲ、擔當スル**頌**一節旄ヲ、タテル○大將ノ、デ

増一ノ各頁六八

卷之三

宋徽宗

上都市ノ酒肆妓館ニ微行スル圖

二十三



挾以歸 ヒキツレ 歲幣 年々キマツテマルシ 燕京一帶 燕京ハヒ 札 カキツ

侍國書 宋朝ヨリツ 訂 シカト條約 就招安 朝廷人招キニヨ 北事起 北

死闘 ナツテカフ 僅以身免遁還 ナツテニゲル 輸 オ

來歸 ヨコシラヘ 席卷而東 ムシロラマクヤウニアマサ 同 府トナル 徐 イ

神保觀 ヤシロ 傾城 ミヤコノウチノ 飾作鬼使 鬼神ノカク 催 アトカ

旨禁 オホシメシ 没入 地底ニオ 山下麥苗乃在山上 地ノト 擊 キ

結綵山 絹帛ノ織物ノキレラモ 倡樂 狂言芝居 鬪鷄 トリノケア 擊 キ

鞠 マリヲ 衆樂 イロクノ 類電 電母ト云入舞女兩方ノ手ニ鏡ヲニギルスガタガ

茫然 バツトシテ 菱舍 クサノウウヘ 倣 マホ 疊見 タノミカケテフシ

青果 ヤサク 豐樂樓 酒棹 酒保 トウジン 髭髯 イビ 不 フ

度為女道士 度牒ヲタマフテ女道士トナス 度牒 タマフテ 女道士 トナス 道 道 家 家 釋 釋 家 家 類 類 二 二 八 八 課 課

不可勝計 ヘキ 限蕃漢 エビスト中国ノ 隄荒 キ 榆皮 ニレノ木 不 フ

附 宋ノ方ヘ 邊納之 ウツタニソノ 謀知 オンミツラ 宋詔札 宋カエサツ 南 南

歸曲 スヂチガヒノ 累檄取數 張鼓ヲヒギワタセトタ 函送 ハコヘイレ

前驅 サキテ 平時 フダント 作多少威重 タイメウモツ 畏怯 オクビヤウ

死難 ゴクナンニイ 觀察 張孝純觀察使ヲ兼 大沮 邪魔セラレテ 鄙夫 野鄙ナ人

內禪 天下ニ布告セヌサキニナ 欽宗在東宮 東宮ハ太子ノマタ天子 無失德 ブテウハウ 憚之 向フノ

欲動搖 太子ヲソノ位ヨリオロサントテイロク 伏闕 禁内ニチ 謝 謝

根括民田 地卷ヲモツテ現地ヲシラベ普通ノ尺ヨリ五分アマ 御榻 天子ノ 狐王廟 日本ニ

破蕩 人民ノ身上ヲヤブリトラカ 御榻 天子ノ 狐王廟 日本ニ

天下 人民ニ 破蕩 人民ノ身上ヲヤブリトラカ 御榻 天子ノ 狐王廟 日本ニ

破蕩 人民ノ身上ヲヤブリトラカ 御榻 天子ノ 狐王廟 日本ニ

破蕩 人民ノ身上ヲヤブリトラカ 御榻 天子ノ 狐王廟 日本ニ

破蕩 人民ノ身上ヲヤブリトラカ 御榻 天子ノ 狐王廟 日本ニ

破蕩 人民ノ身上ヲヤブリトラカ 御榻 天子ノ 狐王廟 日本ニ

除元祐黨籍 文黨人ナマ 携テ 表段 キヲハズモ 連發三矢皆

中筈 苦ハ絃ヲウケルトコロ、三矢トモ 勤王 王事ニ勤勞 支ヘテコトヲ 與城内

劄寨拒守 シテヘテ、フセギマモルコト 侯困 金人ノ退屈シテ、ク 狐軍 タス

如虎投檻 トラガオリヘ、ハイ 角 得旨 オホセラ、括 蓄已

數足 ソコウ 縱其半渡而擊之必勝 括 蓄已

即所在 即所在 困 匱 六甲法 命

餘兵 殘兵ヲヒキ 披靡 天子ノ駕ヲシユゴシテ敵 齎食之 劉晏

巷戰 町小路ニテ、イ 飲兵不下 二宿 出郊 誤守戰之 今

計 守戰ノシクミラ、マナガハス 青城 宮内 二宿 出郊 誤守戰之 今

上 欽宗 勵 死戰 或可僥倖 今

死於封疆 封疆ハクニザカヒ、宋ノ國 藥 帝姫 圖書 百物

括索 城中ニアルダケハ、金城及ヒ諸物 宣 選立異姓 趙氏ヲハイシテ、ホカ

冊 往來 通逐 上皇以下 一ノモノヲ、ムリニ、ヨビダス

易御服 天子ノキモノ 抱持 上皇ヲ、トリカコミ、胡 頤 梟之 死義

憤死 クニノホロビルノラ、ザ 結衆 十カマラ、 劫還 テキヲ、オドシカケ

誘殺 驅之 未嘗交兵 括 蓄已

南宋 高宗ハ、南京ノ應天府ニ、都ヲ 遷スラモツテ、南宋ト云フ

高宗 蠟書 蠟丸ノ中ニ、密 物色 ツテ、サガス 揭榜 高札ヲ、

探報 テキ味方ノ、ヤウスラ、 風霾 フラス、ス、トイフ 薄暈 ヲ、

慘坦 欣然若有所得 漢家之厄十世宜

易服歸省 尚書省ニ、カヘリテ、臣位ニ、ツケト、イフコト

易服歸省 尚書省ニ、カヘリテ、臣位ニ、ツケト、イフコト

易服歸省 尚書省ニ、カヘリテ、臣位ニ、ツケト、イフコト

易服歸省 尚書省ニ、カヘリテ、臣位ニ、ツケト、イフコト

易服歸省 尚書省ニ、カヘリテ、臣位ニ、ツケト、イフコト

易服歸省 尚書省ニ、カヘリテ、臣位ニ、ツケト、イフコト

易服歸省 尚書省ニ、カヘリテ、臣位ニ、ツケト、イフコト

易服歸省 尚書省ニ、カヘリテ、臣位ニ、ツケト、イフコト

光武之中興

前漢ノ十代目ノ孝平皇帝ノトキ、漢ノ家ハ王莽ニシテ、後漢ノ光武ガ、オコル運ガ、ダグツテ、キタ。○康王ヲ光武ニシテ、ヘシモノナリ。

獻公之子九人惟重耳之尚在

コレ、左傳僖公二十四年介子推ノ語ニテ、獻公ノ子九人ノウチ、テ、ハ、八人ハ、騷乱

ニ死亡シテ、タ、重耳一人、イ、キノコツテ、オ、リ、シ、ガ、晋ノ國ヲ、サ、カ、ン、ニ、ナ、シ、タ、モ、天、命、請、死、シ、テ、

ノ、シ、ラ、シ、ム、ル、ワ、ケ、ダ、○、コ、ノ、デ、ハ、イ、マ、康、王、ヲ、重、耳、ニ、タ、ト、ヘ、テ、イ、ヒ、シ、モ、ノ、ナ、リ、○、道、君、ハ、微、宗、ノ、コ、ト、

救父母 竄來 道君手札 誤國 便可即真來 罷

竄 六、オ、シ、コ、ム、邊、防、軍、政、略、有、緒、上、書、人、

李綱ガ、ヤ、ク、ラ、マ、メ、ト、キ、上、書、シ、テ、諫、タ、人、

號 擲 相 得 報 出 二 相 方

會 食 堂 黃、潘、善、汪、伯、彦、ノ、二、宰、相、ガ、政、事、堂、ヘ、

回 望 張 天 遊 擊 外 抗 刺 血

二 兇 反 正 駕 行 矣 戎 服 爲 殿

寧爲趙氏鬼不爲他邦臣

イツ、ノ、趙、氏、宋、國、ノ、姓、ノ、幽、靈、ト、ナル、モ、ヨ、ソ、ノ、

擁 誘 諭 累 日 邀 之 俘 獲 大

相 持 求 假 道 次 草 尾 擊 問 罪 訪 草 調

渠 一 夕 成 移 檄 離 所 部 大

分 其 勢 移 檄 離 所 部 大

星 馳 擊 全 家 須 是 南 自 南 北 自 北 草 調

擣 節 制 河 南 席 卷 東 南 大

罷 其 兵 柄 倚 端 爲 重 軍 情 悵

恨 非 浚 昌 言 聳 動 天 下 聲 言

浮 梁 沮 止 恢 復 遠 圖 聲 言

補一ノ身略三類ノ全 卷之三

扼 拔寨 不能支 是舉也 是行 視師

北方既無西顧憂 所得之シシハイスルコトガナイ 牽制 視師

十三捷 十三度ノカ 所扼 棄輜重

撫張俊軍 張俊ノ軍ヲオチツカ 踊躍思奮

岳飛爲河北東西招討使 岳飛ヲモツテ盜賊ヲウチコ

敵寇 有能害我除是飛來 水陸トモニヨリツカレマシヒトモキ

爲腹心害 窮蹙 防秋 茂視他師

儲副 總飲 奉粘罕 衆情洶懼

提兵 觀釁 衆情洶懼 斬以徇

保 可保必勝 望風潰去 督光

世 光世ノオコタラヌ ヤウニ後見スル

問 列將 右相 拔起 屈已下之 以内

不答 力起之 謙隙日深 等夷不相下

以言罷 簡倨 反側

金人以劉豫不能立國 金人劉豫ガ國ヲタテルコト人デキヌヲミテ大將ヲ

趙鼎罷 鼎和議ヲ主トセス 樽之レ 講和

其正朔 拘囚 為間 去尊号 屈膝

左裕 陪臣 異時 豺狼

無厭 加我以無禮 異時 豺狼

犬豕 二尺童子 沸然 堂々

相率 曾無童稚之羞邪 誘致

高宗嚴正 ナル良

增一ノ身略三類ノ全 卷之三 南宋 高宗 二十七

招諭江南 江南ハ宋ヲ云降伏 臣妾 金ニクダツテケライトナル 附會 シタガイユ

共戴天 イツシヨニ 竿之蒙衛 蠻夷人ヤシキノアルマチヘクビ 羈 ツナギト

小朝廷 宋金ヘクダレバ 屬國ノ王ナリ 求活邪 海ニ投シテ死シ苟モ 連敗 竄

官 謁陵寢 オタマヤヘサ 交割地界 立チ會フテ 國界ヲト

除兵於夏以復 既出則知陝西 部夏兵 夏國ノ兵卒

已還宋 夏ノ國カラニンスラヒキツレテテ、キタトキ陝西ノ 部夏兵

賜賚 冊命 宋國ノ王ニ封ス 渝盟 約ヲカ 蕃部 エビス 班師 軍ヲマトメ

隸御前 天子ノチキ 臨時取旨 シツヲウケル 抵 爲河北圖 河北ノ

構成罪 ナキツミヲ コビテユル 逮赴獄 トラワレテ 梓宮 ツクリ天子ノ屍ヲイ

不惟盡悔所許陝西河南地 ヤツタ 陝西河南ノ地ヲ後悔シテ

棄和尚方山原 和尚方山ノ二原ヲ宋デステ 内叛 國內ニムホ

不得逞 十分ホモヒドホ 扼腕 ウデコキシテ 異儀之人 和ヲヤブリタカハ

僻在一隅 邊鄙ノ地ニカ 起大獄 タイソウナカ公事 密藏畫王 金ノ使者ガ

立馬吳山第一峰 吳マヌ吳山人ゼツテウヘタテル。○金主ガ臨

海鯀船 戰艦ノ名 死闘 必死ノタ 内變 葛王ヲ擁立ス

以手加額 敬ラクハユ 尋和議 ツタヒ旧ノトホリニスル義ナリ

孝宗崔府君 神仙ノ名 識 適 適ハ的ニ同シ 力丐罷 ゼヒトモト、サマト手ヲ

不報 不報 不報 不報 不報 不報 不報 不報 不報 不報 不報 不報 不報 不報 不報 不報

國之心 一命ヲ國家ノ爲メニステン 白首不渝 シラガアタマニナルマ 付其

二子 命ヲ子ニイ 附葬先人之墓 先祖ノ墓ニナラ 迹 証拠人ミユル 問

金主起居 金主ノキケ 降坐 セキヲサ 館伴之屬 使者ノ旅宿ニツ 持重

カルシク兵 **虚誕** 大言虚喝 **不效** 功ノミ **善類** ヨキ **主張** オシ **還魂** 程頤ノ

ヲオコサヌ **尊魂** 願ヲダ **強魂** 願ヲツヨ **經筵** 天子ノガク **道學** 聖人ノ道ヲ

ヒヲヨビカヘシ **時好** ハヤリ **冒此名** 道學ノ名目ヲ **見擠於世** 世間ニオシ **光堯** 高 **特**

モ **改秩** カクシキヲアラ **奉祠** ワカ朝神 **召入** 館 **不**

以 **就** 官職ヲ **浙東荒** 浙東カ凶 **提舉** 救助掛リノカシ **過闕** 出立ガケニ參 **振舉**

綱維 政令ノ怠廢ヲ一洗シテフルヒ **愛養民力** タミヲイツクシ **四方仰**

其人如泰山北斗 天下ノ人ガ未子ヲ泰山ヤ北 **爭論** アツカフ **學有悟入**

サトリ 静坐工夫シテミチヲサトルマタ悟入トハ講學ヲモチヒズシテ自然ニ **從事訓**

サトリアリテミチヲサトル 朱子嘗テ陸氏ノ宗旨ハモト禪學ヨリ来ルト云フ **會** 彼ト此

解 古今ノ註釋ニヨツテ書ラヨ **意見頗立異云** 學風見識ガヨホド **會** 彼ト此

フトコロ **奉德壽** トキニ高宗德壽宮ニ **備至** ヨクユキ **奉几筵** 几ハツクヘ筵ハ

マツル ウツハナリ **退** クハラキヲユツリ **終喪制** 三年ノ喪ヲ **仁恕** メグクオモヒヤ

祭リ ヲスルコトヲイフ **退** 太上皇トナル **終喪制** 三年ノ喪ヲ **仁恕** メグクオモヒヤ

欠

MISSING

アルベキ
ヲ祝スル
稔積
ノナリツモル
至於生事開邊而極
鄰國ト不和ヲ生ズ兵端

惡事ノユキド
職西陲
西方蜀ノ地ヲオサム
蓋テ大抵ノトコロヲイソ
累朝遠慮

代々ノアカキオホシメシ
○モシ
吳氏ノ子孫ヲ蜀ニカ
一サバ
曰恩ヲ
凝血
チノカ
九游

白旗
コ、ノス
ハタ
通謝
全國ニツカヒテ通シ
弄兵
ムヤミト、イ
誅兇
ワルモノ、
推

建密策
コソカニ佐育ヲ
旨從中出者
内命、キン中ヨ
擁
ムコト

殺鉄ノツチニテ
處斬
ニザンサイ
決配
決ハ答罪
略地
チノコト

濟不爲禮
元未ダ大号ヲテザルトキ
尚ホ、金ニ藩タリシカルニソ
南嚙
金ハ元ノ
南ニ國ス

南ニムカヒ、ツバ
キヲ、ハキカケル
中原皇帝
金主ヲ
天上人做
天上ノヒトガナルト、
此等

ナモノモ
○
策馬
馬ヲオヒ
郡牧監
マキバ、
無歳不受兵
業ノ兵ヲウ

大將所弒
副元帥胡沙虎ソノ主
駐蹕
天子ノトウ
感
セマク
阻
内外ノヘダ
自

廣土地ヲヒ
黃榜
黃紙ニシタ、ノシ
忠義李全
忠義ハ軍隊
弓手
ソノ縣地ニ

會
南東光宗寧宗
三十

方物 土地ノ物ヲ指ス

降符 符ヲ降ル

無歲不被其擾 一年デモ騷乱ニアハズ

終始如一 シテウオナ

不可容 ヨウシヤハ

汝曹不効

應得舉 貢奉ニテタル

宣遺詔

作亂立

事不

如神 兵ノ運用人意ハ外ニ

焚其縣 縣ニ應シテソレヲ火攻ニシテトリカセシナリ

西域 今ノ獨立鞏固及ビ西藏

二邊 東西北

聚嬉 子トモノ

長上

外議籍々 外朝ノギロニ

取

世讎

擄汴京汴急

大畧

方物 土地ノ物ヲ指ス

降符 符ヲ降ル

無歲不被其擾 一年デモ騷乱ニアハズ

終始如一 シテウオナ

不可容 ヨウシヤハ

汝曹不効

應得舉 貢奉ニテタル

宣遺詔

作亂立

事不

如神 兵ノ運用人意ハ外ニ

徇地 ソノ土地ニフレ

無歲不被其擾 一年デモ騷乱ニアハズ

終始如一 シテウオナ

不可容 ヨウシヤハ

汝曹不効

應得舉 貢奉ニテタル

宣遺詔

作亂立

事不

如神 兵ノ運用人意ハ外ニ

方物 土地ノ物ヲ指ス

降符 符ヲ降ル

無歲不被其擾 一年デモ騷乱ニアハズ

終始如一 シテウオナ

不可容 ヨウシヤハ

汝曹不効

應得舉 貢奉ニテタル

宣遺詔

作亂立

事不

如神 兵ノ運用人意ハ外ニ

方物 土地ノ物ヲ指ス

降符 符ヲ降ル

無歲不被其擾 一年デモ騷乱ニアハズ

終始如一 シテウオナ

不可容 ヨウシヤハ

汝曹不効

應得舉 貢奉ニテタル

作亂立

事不

如神 兵ノ運用人意ハ外ニ

勳績 紀載 國事無所屬 奔喪 太祖死スルヲ以

朝儀 尊族 就班 傳命 音信ヲ通

張燈 濠 亂槍 假道 慶戰 一騎ニ

可遂復讎之舉 迄以取禍 侯成功 自縊而死

不可不鑑 南北 突至

方輿之敵 勤饋餉 無幾 生

刻日 開農致兵 無寧日

方爾 羈留 無寧日

失據 開農致兵 勤饋餉

方爾 羈留 無寧日

方爾 羈留 無寧日

方爾 羈留 無寧日

方爾 羈留 無寧日

方爾 羈留 無寧日

兵 アラ 潰 ナヘガクツレル 印造 板ニエリコ 交鈔 幣楮 編修 所 五戸 給

經籍所 經書以下ノ書物ヲ 攻哨 ニ通ジテカスメルコト 遺履 ハキステノ 尺有咫 ヨキヤク

湯沐之賜 湯沐ハ休日ヲタマフ時ヲ云フソノアヒ 每銀一兩四十斤 銀

兩ニツキシホノ 目方四七斤ガ 定額 キマ 將來必有以利進則已為重矣 コレカ

貫 シヨ 魁梧 身体長大ナルコト 勇悍 ツヨ 微時 卑賤ナ 遺履 ハキステノ 尺有咫 ヨキヤク

貫 シヨ 魁梧 身体長大ナルコト 勇悍 ツヨ 微時 卑賤ナ 遺履 ハキステノ 尺有咫 ヨキヤク

太極書院 學校ナリ○周茂叔ノ太極說ヲ 延 ヒキイ 粹 マザリノナイ 伊洛諸 書

書 伊水洛水ハ程氏兄弟住居ノ地ナリユヘニ 周子祠 周茂叔ヲマ 一程 明道 張 二程ノアラハス書物ヲ伊洛ノ諸書ト云フ

揚 横渠 游朱 遊酢 配食 マツル 失盜不得 盜賊ノ手ガ 去處 單ニ處ト云フ

本路 事アリシトコ 亡命 オカケ 罷徵 ヲリタテ 官民 官事ヲツト 歲加倍 イ

トシ利息 ヨツ 羊羔利 利金ノフエルトテ 破家 ギリヲスル 錠 元人金銀ノ五兩

テニツクリ之レヲ錠ト云 テ蓋シカケメ人名ナラン 假貸 アカリ 子本相侔而止 子ハ利子本ハ元金侔而止

テ利息ガ百兩ニナレバソレヲカギリトシ ソノ上ノ利息ヲトルトマユルサヌナリ 著為令 此レヨリ遂ニ一定ノ律令トスルコト

從祀 ツケマ 臨 出席スル 寬弘 ユツタリトシテ 量時 シラカンガヘル 度物 人ノツ

ハキヲ モツテア 舉無過事 ナスコトニヤリ 殷富 ニトム 旅行不齋 ラウクニカテス

ルカナイ ツタコトヲ 治平 下オダヤカナルコト 思史嵩之之言 嵩之ガ前年イクサヲオ

オモヒヤル ツタコトヲ 丁父彌遠憂 丁憂ハ父ノ死去 起復 忌引ヲユルシテ 目 モク

為權姦 ケンキヲムザボル 防秋 元ノ入寇 常事 アタリマ 御寶空紙 ハット

御宝ハ天子ノ印章空紙ハ押 印シタル白紙ヲイフナリ 自書填 縣都刺合書ヲシテ押印シ白紙ニカ

奏准 天子ヘ伺ヒデ 勳舊 旧功 曲 ズムリニ 天資 ツマレ 英邁 ナミヨリ

夔 ハルカ 出 ル 人表 上ニタツコト 案牘 カキ 酬答 ヘンタウ 以身徇夫 シニテ

增十八史略字類大全 卷之三 南米 理宗 三十二

下ニ身ヲナゲダシテ忠 利病利害ト 休戚休ハ存外ヨキ方ニオモムク 辭色一功ヲ國家ニハゲム

懇切ゴトバカヲカホイロマデホシ 不若除一害利ヲオコスハ一害ヲイゾク

接ア温恭之容溢于外シトヤカニシテ、テイホイナル 善兵イクサダ 勤シヨウズ

儉自持シラシキヤウトケンヤクマ 尸位コノトキ、太宗ノ皇后、乃馬真氏政事ヲニギリ 異同チガフ 羈縻ス牛馬ヲシバリ自由ナラヌ 不世出イセニタクサ 虛チカラ

謙慎ホトナ 以道自任聖人ノ道ヲモツテ、ワ 大經オホスギ 不世出イセニタクサ 動必チイサイコトモオホ

總治シマク、リシ 已受言ヒトツニ 本末兼該モトスヘイツレ 序イ 大經オホスギ 不世出イセニタクサ 動必チイサイコトモオホ

見詢ドウカスルト、キツ 厭穰失烈門ヲ帝位ニツケン 賜死自害ヲイ 中州漢チウヂウ

地カラノ 河徙無常黄河ノ水害ニテ、カハノセ 土薄チメメンダヤ 瀉鹵生之チメメンダヤ

天府モハ、ヨクデキ 陸海陸地ノ産物ガ、ウモノ 潛通北チウツク

境内々通スル 承旨余時ノ内意 鍛成罪状ヲ 逆流而上ヒガ吹 恍惚ウツトリ

與惟忠還死シタル、惟忠ノ姿ガ陳太 重築廢城ヲ、フタ 平曠之地ヒガ吹

分治險要要害ケンゴノ土地ヲ平地ニワリツ 民藉以安人民ガ余

打鬼胡ハ胡靺打鬼ハ鬼神ノ 托カコツ 題疏カキツケラ、カイ元 都會クワイミヤ 相シム

宅ミタテ 畢功デキア 珍珠傘メヅラシキタマニ 所急者サシツケ 沉シム

軍中ツキリトシテキル 雄毅人ニスグレテ、ビニヤ 沉シム

寡言モトハズ 侈靡オゴ 政出多門権臣オホクシテ、政令 起ヒキ

獎諭コト 驕逸心オゴリテ、 督サシツ 阿里不哥忍必烈 龍リウ

正位號天子ニ 行赦江上罪ヲユルスト、揚子江ノ

為念コハロニ 大行天子崩ジテ、マダ諡号 靈昇ヒツギ、○神靈 會カヒ

增十八史格字類大全

卷之三

南宋 理宗

三十三

補一ノ... 安輯 示以形勢 江面肅清 大寶 偏師 候

安輯 人心ヲ安カス 示以形勢 コトヲ示シテ形勢ヲ示ス

三讓 存外ヨ 再造功 國家ヲ再興スルニテ再興

無疆之休 存外ヨ 再造功 國家ヲ再興スルニテ再興

軍 阿里不哥ノ 尋服 天下初教ノコト

徵 難 遺黎 俘畧 一視同仁 南北ノ人民

蹈不測之淵 活 生靈 爲有用

靖亂 呈露 不能堪 將命 爲

假手 介佐 不能堪 將命 爲

獄 介佐 不能堪 將命 爲

聽其在彼 中州 須 宋祚 爲

勵 事 豈容一切輕徇 宋祚 爲

交鄰國之道 列國同等ノツキアヒライフ 忌害園臣

打算 費用ヲシテベレル 打ハ俗 汚 侵盜 掩

徵償 官金人返納ヲ 拘 以趙葵檄 給錢粟 遷驛之

斷橋之功 寇ヲフセギシテガテ 宿憾 壓境

贖 積留 基業 守成 開經筵 創

重祚 天子ノクテキス 當國 開經筵 創

始 格心 防虞 黑灰團 互市 堡 兩

道 天下ヲオサ 格心 防虞 黑灰團 互市 堡 兩

育才 厚生 黑灰團 互市 堡 兩

置權場 交易ヲス 土城 互市 堡 兩

申制置 呂文德時ニ 制置使タリニ度カキ 方達 堡 兩

會一ノ... 南東 景宗 三十四

燭天 空ノアカ 蚩尤旗 彗星ノルイ尾ノヒカリ旗ノヤウ 四更 五ノ 歛

遭論去國 クニニエタチノク 滿朝 イッパイ 侍從 オソバ 互為消長

相猜 相推スル 未及更變 似道ガツミラダバシテ時政 臨御 即位コノ

度宗 猶子 自副 自分ハ介添人 江心 江ノマ 遇 セキト 哨掠 ウバヒカス

不赴堂 政事堂ニ入テサイセウノ 就第 賈似道人ヤシ 呈署 似道ニ文書

書紙尾 カキツゲノハシヘ名 彈劾 ツミアルモノカデ 薦辟 薦ハスイ

舉劄 名ヲノゾキツミスル 關白 一切ノコト似道ガミナ 貪風 貪欲ノ 大

肆 マノニスル 喪 マゲル 無誓 モノゴトヲスル 降 サゲ 告急 敵ノセソル

道不通 元兵ツノ通路 三學 文武宗ノ三學校ナリ宗 調 エラミ 不報 ゴタタ

弓量推排田畝 弓ヲヒクチカラヲ量リ考ヘテ田地ノ畝 字學 新製ノ字ヲオシ

女嬪 女官 詰門 ナシ 誣 ウソ 以他事 ウチキコトヲイヒタ 箱制 自由ニヒキ 望

士 ヒヤウバン 儀羽 儀ハカザリ 腹心不在焉 味方ノ 廉介 ルヒト 非

其人而得進者 ソレダケハ人物デナク 有蹊徑 チカミチガアル 失將帥心 軍職ノ職

緩取 シツカニト 經營 クミタ 虛實 ウソ 相繼 ヒキツ 粉飾太平 天

帝師戒 帝師ハ八合思馬ナリ戒ハ佛法 大丹 金石ヲホリテク 所需 モトム

前世人主 秦ノ始皇漢ノ武 不假靈于大丹 大丹ノ奇特 無上 天

蠹國 国ヲソコナフト虫ノホラ 慮 オモ 此反道也 コレハム 奄

由此 此ハ兵民財ノ三者ヲ指ス由ハ 誕膺景命 景ハ大ナリ天子ニナル

宅尊 天子ノ尊 紹百王而紀統 ムカシヨリオホクノ天子

四海 天下ヲノコ 宅尊 天子ノ尊 紹百王而紀統 ムカシヨリオホクノ天子

隆古コゴクム 唐之為言蕩也トイフギハオホキ 著稱チヨウカクナ

馴致ニユセ 禹興而湯造禹王オコソレカラシテ湯王 互名夏大コノナカク

殷中コトヲ湯王ガタガヒニ夏殷ヲ名トスルナリ 世降以還コノナカク 事殊コトナカク

非古コトガラガムカシトハ 乘時而有國トキハツガフアヒニツ 不以義コトナカク

而稱制字ノ意味ヲモツテ 治封之爵邑ハジメテシヨコウニナツタ 狃習コトナカク

古來ヨリハ 一時經制之權宜ソノトキカリニ便 概以至公コト公平ラ

得無少貶スコシワガ天下ヲオト 握乾符乾ハ人君ノ德符ハシルシ天子

朔土北方 神武神ハ神算トテ常人ノ及バヌオナリ武ハ武 膺帝圖天子ニナ

四振大聲ヨモヒナル評 恢土宇ラクニラス 輿圖地圖ヲ 歷古カ

耆宿古老ノ人 大業帝業ナリ 鴻名オホキ 在古制以當古制ノゴトク美

何有ニホコルコトアラヤナイ 乾元乾ハ形体ヲモツテイハ天ナ

流形於庶品乾ノ廣大ナルヲソノ徳ヲホト 孰名資始之功乾ノ功

因革仕来リノトホリマモルヲ因 天人天ト人民 稱義ワケガラニ 溢美ホノス

孚休惟永シツニヨキト 投難カンナシテ身 敷天アマガ 隆大号元

有衆ヒト 體心得ヨト 至懷ワスレガタキモノ 制臣シハイスル

失撫御士卒ヲオサムルテ 不苦爭コトイッテ襄陽ヲト 重兵オホクノ 扞コトナカク

禦備至フセギカタダ 不肯調援コトズラシテタスクル 薪芻タキバ 無コトナカク

所措辨カチヒセ 撤廬舍ヘラ 緝關楮楮幣ニツクルヤウナ 累章カネ

陰諷朝廷内々朝廷ニホノカシ 併尚書省中書省ヘ合

以為要君文天祥オモヘテク似道ガ君ヲサ 強於自治身モチテ堅固ニシテス

公愛公ハオホヤケテワタクシナキヲ云 不嚴而整キビシクハナイガキチヤ 閏コトナカク

天子ニタテマツル

天子ニ出陣ノ願文ヲ

天子ニ出陣ノ願文ヲ

天子ニ出陣ノ願文ヲ

天子ニ出陣ノ願文ヲ

天子ニ出陣ノ願文ヲ

天子ニ出陣ノ願文ヲ

天子ニ出陣ノ願文ヲ

門之内若朝廷然 ハカハルコトニ 旁舍 ウツトナク風ノヤ 苦行 ウツトナク風ノヤ 實化之 ハカハルコトニ 壽汝祖宗之嗣 ウツトナク風ノヤ

度 ウツトナク風ノヤ 隨起復 ウツトナク風ノヤ 南侵 ウツトナク風ノヤ 陸辭 ウツトナク風ノヤ 天兵 ウツトナク風ノヤ 不 ウツトナク風ノヤ

孝恭端坐 ウツトナク風ノヤ 小心慎密 ウツトナク風ノヤ 大限 ウツトナク風ノヤ 第 ウツトナク風ノヤ 桂石四朝 ウツトナク風ノヤ 若將浼之者 ウツトナク風ノヤ

殺 ウツトナク風ノヤ 附奏 ウツトナク風ノヤ 出入將相 ウツトナク風ノヤ 師表百辟 ウツトナク風ノヤ 善始令終 ウツトナク風ノヤ 欽迹 ウツトナク風ノヤ 開國元臣 ウツトナク風ノヤ

大節 ウツトナク風ノヤ 義烈ノ風 ウツトナク風ノヤ 向導 ウツトナク風ノヤ 沿江 ウツトナク風ノヤ 呂氏部曲 ウツトナク風ノヤ 憤死 ウツトナク風ノヤ

遷延 ウツトナク風ノヤ 行在 ウツトナク風ノヤ 迂道 ウツトナク風ノヤ 無國志 ウツトナク風ノヤ 精氣ヲオトシシツカリ ウツトナク風ノヤ

牽制下流之師 ウツトナク風ノヤ 三日 ウツトナク風ノヤ 要官資傲甚 ウツトナク風ノヤ 已未庚申官資何在 ウツトナク風ノヤ

竭轉官資 ウツトナク風ノヤ 已未庚申官資何在 ウツトナク風ノヤ 能為忠臣妻耶 ウツトナク風ノヤ 冠 ウツトナク風ノヤ

能為忠臣妻耶 ウツトナク風ノヤ 冠 ウツトナク風ノヤ 戒嚴 ウツトナク風ノヤ 接踵 ウツトナク風ノヤ 自解 ウツトナク風ノヤ 具衣 ウツトナク風ノヤ

備禦之策 ウツトナク風ノヤ 咫尺不辨人物 ウツトナク風ノヤ 晦冥 ウツトナク風ノヤ 拉其胸 ウツトナク風ノヤ 略無 ウツトナク風ノヤ

峒丁 ウツトナク風ノヤ 意不相樂 ウツトナク風ノヤ 猶可為也 ウツトナク風ノヤ 務持 ウツトナク風ノヤ 航海 ウツトナク風ノヤ

重 ウツトナク風ノヤ 沮之 ウツトナク風ノヤ 闔門死之 ウツトナク風ノヤ 航海 ウツトナク風ノヤ

元ノ兵ヲサケル 辭不拜ウケヌ 使軍前元ノ軍ニ使ヲ奉スルコト 辭氣コトハツキ 奉

三宮三宮ハ理宗ノ后、度宗ノ后并ニ懿聖帝ヲ云ス奉ハ供奉スルコト 手詔天子手ツカラシタメル詔書ナリ 内附元ニ降伏サセ 宮室宮ハ宗ノ誤リ

飛ラシテ、太皇太后ノ手詔ヲ取テ、天下ノ諸路ニ諭シテ、元ニ降伏サセルトアリキ 得間逸去キススキヲスマシテニゲカヘルコト 宮室宮ハ宗ノ誤リ

ナラ 駙馬天子ノムマ 大學大学生ナリ 在遣中北へ送テレル人数ノ中 奪駕天子ヲトリモドサントナル 幾

遂不克ナリカケタコトガツイ成ラザルナリ

端宗淑妃女官ノ名 開督州府ヲヒラキ募兵ヲ督スルコト 猖獗タケケテダモ

ヤウナイキ 血江閩廣之路江閩廣ノ諸地ヲオカシ人民ヲコロシテ血ヲ製スル 製服

モフクヲコ シラヘテ 道阻不通ミチスガガテモニジヤマサシラヘテ 責以大義スチミチヲモツ

向化上ノ恩德ヲ受テ 擁送オクリトリマイテオクル 淺灣アサキイリエ 猝不意大トコロヘ急ニクル 即ヒキツバキ入トコロヘヨリツク

瀾兵先潰鄒瀾カ兵己ニ先ツ潰散スルニアフ 恒恒ハ元ノ李桓ナリ時ニ鄒瀾兵卒數カヌ永豐 窮

追及之天祥ニヲヒツク 箭被體ヤラカラダニウケル 手刃テツカテキリコロス 肩輿カゴ 挺

身團ミヌオドリコヘテノガル 幕僚大将ノアツク 客將キヤクブシノ大将 頗自辨イヒワケスル 何必然オツゲ

シテ、余人ヲハナシ、ソレハ天祥ジヤトイヒハル 占城安南ノ南部 颶風ウミノホカセ

帝昺將焉置之ドウシカ 古人有以一旅一成中興者蒙塵ト云フガ如シ天子 儼然

ワツカ一旅二百五十人ノ人数ト一成方十里ノ地ヲ播越蒙塵ト云フガ如シ天子 儼然

キツトカタチヲ正笏シヤクヲテヤ 如治朝治平ノ世ノ朝廷ニタツ 在行中諸官

ナランテオ 憐然カナシコ 拭淚ナミダヲナシ 籌軍旅イタクサノハカ 調工役シ

ンヤ、ブヤクヲシ 忽遽流離中アレコレトセハシク 勸講帝ニス、メ 疫役病ガ

マツスルコト 不支クヒトメ 飯食事 突至ニハカニ 草莽クマ 腦子附子ノ異名ニ 自剄シ

ジシテクビ 爭真偽ワレハ天祥ナリトイヒアラソ 釋其縛ホドグ 以客禮

見之キヤクノトリ 不可測也ボノヤウナコト 保無他ベツデナキ 無

如之何ドウモシカ 義不可移ウツス君臣ノ名義ガウゴカサレヌ 歷數カガヘ

擗	マモル	人生自古誰無死留取丹心照汗青	ノハナキエハノチヲオシムコトハナイガタビ死シテ	アトニ忠義ノコトヲシヨモツニノコスヤウニシタイ	キコリ汲ハ	如乾糧	ホシイヒス	渴	カハ	樹	手ニスタ	置之	世傑ハヤルコト	焦波	ハ
擗	ナリ				ミツクム						ヒアゲル				
擗	出度	潮至	シホガナ	樂作	ハシガクラ	早潮	アサノシ	潮上	シホ	知事去	コトヤブ	環結	トリカ	驅其妻子	妻
擗	支度														
擗	ホバシラハサキニアル	奪港而去	松路ヲトツテ												
擗	ハメル	寶	五	收兵	人教ヲ	撫膺	ナデ	忍死	艱關	死ヲコラヘテ	一				
擗	帝島ノ幼少ヲサシテ	塊肉	カタマリハニクト云ナリ	欲	ニシニヨツテ	存	祀	先祖ノマツ	死有餘罪	トモ					
擗	事宋者事今	轉シテ今ノ元朝ニツカヘバ	汝然	ナミダ	吉州	文天祥ノ生國	勵操	チカツテ							
擗	ツミラツクナフニ	貳其心	フタゴ、ロラモツ												
擗	タテヌト云フコト														
擗	ハゲ	為國婚	國王ノム	國祚	運命	驗	証								

ノ北宋ハ汴ニ都シ南宋ニ至テ抗ニ都シ次ヒテ閩ニ
行在シ終リ廣州ノ崖山ニテ滅亡マデ四度目ト云フ

十八史略字類大全卷之三 終

增補十八史略字類大全卷之三

明治十四年七月四日版權免許
同年七月出版

定價金八十錢

編輯人

長崎縣士族

川崎 與十

本所區相告町四丁目十七番地

出版人

東京府平民

山中市兵衛

芝區三島町十番地

發兌人

同

山中孝之助

京橋區銀座三丁目

同

同

山中喜太郎

同 四丁目

西京

田中治兵衛

參州岡崎

本屋 文吉

全

藤井孫兵衛

駿州靜岡

浪花屋市造

大坂

前川善兵衛

全

米山 定昌

全

柳原喜兵衛

豆州肥田村

柿島 宇吉

全

小谷卯八郎

全 三島

堺屋又三郎

全

前川源七郎

全 下田

平野屋久七

全

岡島 眞七

全 蝶ヶ野

丸屋喜兵衛

尾州名古屋

川瀨 代助

相州小田原

米屋忠兵衛

全

萬屋 東平

全 橫須賀

竹川新四郎

全 半田

小栗太郎兵衛

全 藤澤

川上九兵衛

美濃大垣

岡安 慶助

全 伊勢原

山田淺次郎

甲州山梨	內藤傳右衛門
全 柳町	徵 古 堂
全 上野原	富田 秀實
武州橫濱	吉川伊兵衛
全 八王子	高島 惠三
全 熊谷	松枝悅三郎
全 鴻巣	長島爲一郎
上總佐貫町	小松屋長七
下總佐原	正文堂利兵衛
全 千葉	藤屋錠次郎
野州足利	和洋商社

野州朽木	叶屋儀右衛門
全	小林 八郎
全 上三川	萩原 藤作
全 宇都宮	佐藤 靜雄
全	田中正太郎
上州太田町	高橋波太郎
全 桐生	竹内 藤吉
全 高崎	煥 乎 堂
全	友心堂源作
全 前橋	黑崎長三郎
常州水戸	川又 銀三

常州下館	須藤市左衛門
全	八幡屋幸助
全 龍ヶ崎	岡野 昌次
信州長野	西澤喜太郎
全	岩下伴五郎
全 松本	藤松屋楨十郎
全	榊屋 重平
全	高見屋甚左衛門
全 白田	井出 孫一
全 上田	鼠屋 甲藏
全 高遠	矢島 金八

信州小諸	相場七左衛門
濃州岐阜	三浦 源助
加州金澤	近岡屋太平
越中富山	大橋 甚吾
全	守川吉兵衛
全	土井宇三郎
全	河上 權藏
越前福井	森下元次郎
越後葛塚	三條屋七十郎
全 長岡	鳥屋 十郎
全	上田屋治八

增一八史町字類考卷之三

越後長岡	中村屋作平
全	松田 周平
全	伊勢屋甚平
全 新潟	堀 治作
全	林 富吉
全 水原	島屋 六平
全 岡ノ町	村山太三郎
全 三條	樋口屋小左衛門
全 小千谷	野口保吉郎
全 加茂	丸山 乙八
陸前仙臺	伊勢屋安右衛門

陸前仙臺	菅原屋安兵衛
全	伊勢屋源十郎
全 小野	佐々木長藏
全 石巻	山口啟之助
陸中盛岡	池野藤兵衛
全	佐藤正兵衛
岩代若松	齋藤八四郎
全	田中 治平
全	龍田屋萬助
全 桑折	平澤屋喜四郎
全 福島	上野屋彦太郎

岩代喜多方	瀨野屋作右衛門
羽前鶴ヶ岡	小池藤次郎
全	地主 文造
全	地主 勢二
全 山形	五十嵐太右衛門
全	市村屋五郎兵衛
全	荒井 清作
全 上山	萬屋 利七
全 米澤	須佐 權平
羽後秋田	本間金之助
全	岡田 治助

羽後酒田	白崎 善助
陸奥弘前	武田 莊七
全	玉田平次郎
全	石井 常吉
全	野崎九兵衛
全 青森	池田 吉助
全 八戸	浦山太郎兵衛
全	浦山 政吉
渡島函館	魁 文 社
全	常野嘉兵衛
播州姫路	山野 長平

補十八
補十八
補十八
補十八

雲州松江 園山喜三右衛門

筑前福岡 林 斧助

全 山崎 登

全 柳川 開進社

肥前佐賀 河内 莊助

全 熊本 吉造

全 武富 重實

全 大村 山口 友一

薩州鹿兒島 吉田幸兵衛

全 青木靜左衛門

全 兒玉太一郎

肥後熊本 長崎 治郎

東京 山中市兵衛

野州足利 山中 支店

日向宮崎 山中 支店

薩州鹿兒島 山中 支店

陸前仙臺 山中 支店

遠州掛川 山中 支店

沖繩縣那覇村 山中 支店

信州長野 山中 支店

全 飯山 山中 支店

相州厚木 山中 支店

